

高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画の施策・事業の
評価と課題について

米沢市介護保険運営協議会

施策の体系

基本理念	大ビジョン	中ビジョン	施策	主な取り組み（網掛け：新規・重点）	達成度					継続性		見直し	担当							
					低	1	2	3	4	5	高									
いきがいの“わ”でつながげんき米沢	自立して暮らすことができるまち	【健康長寿】 一人ひとりが心と体のげんきを守り、向上できる	介護予防、健康づくり施策の充実	①介護予防把握事業（高齢者見守り訪問員の配置）								継続	廃止	要	否	高齢者福祉				
				②介護予防普及啓発事業（介護予防教室等の開催）									継続	廃止	要	否	地域包括支援			
				③地域介護予防活動支援事業（住民主体の通いの場立ち上げ・継続支援、介護予防推進員の育成）										継続	廃止	要	否	地域包括支援		
				④地域リハビリテーション活動支援事業（住民主体の通いの場への専門職派遣）										継続	廃止	要	否	地域包括支援		
				⑤介護予防・日常生活支援総合事業										継続	廃止	要	否	地域包括支援		
				⑥高齢者いきいきデイサービス事業										継続	廃止	要	否	高齢者福祉		
				⑦老人クラブ活動推進事業										継続	廃止	要	否	高齢者福祉		
				⑧老人体育レクリエーション大会事業										継続	廃止	要	否	高齢者福祉		
				⑨高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施【重点】										継続	廃止	要	否	地域包括支援		
				⑩高齢者温泉利用福祉事業										継続	廃止	要	否	高齢者福祉		
		認知症施策の推進	①認知症サポーターの養成											継続	廃止	要	否	地域包括支援		
			②相談先の周知											継続	廃止	要	否	地域包括支援		
			③認知症の本人人からの発信支援											継続	廃止	要	否	地域包括支援		
			④認知症予防の推進											継続	廃止	要	否	地域包括支援		
			⑤認知症初期集中支援チームの配置											継続	廃止	要	否	地域包括支援		
			⑥認知症地域支援推進員の活動推進											継続	廃止	要	否	地域包括支援		
			⑦家族介護者への支援											継続	廃止	要	否	地域包括支援		
			⑧認知症バリアフリーの推進											継続	廃止	要	否	地域包括支援		
			⑨若年性認知症の人への支援【新規】											継続	廃止	要	否	地域包括支援		
			⑩地域の見守り体制の構築支援（チームオレンジの整備）【重点】											継続	廃止	要	否	地域包括支援		
		在宅医療・介護連携体制の充実	①在宅医療・介護連携推進事業（在宅医療・介護連携推進センターの設置）											継続	廃止	要	否	地域包括支援		
		社会参加と生きがい対策	①高齢者労働能力活用事業（米沢市シルバー人材センターの運営支援）												継続	廃止	要	否	高齢者福祉	
			②生きがいと創造の事業													継続	廃止	要	否	高齢者福祉
			③敬老祝金等支給事業													継続	廃止	要	否	高齢者福祉
	互いに支え合えるまち	【支え合い・助け合い】 心身の状態に合わせて、自分らしい暮らしを続けていくことができる	尊厳ある暮らしのための支援と成年後見の充実	①置賜成年後見センターの運営										継続	廃止	要	否	高齢者福祉		
				②高齢者虐待防止対策の推進											継続	廃止	要	否	高齢者福祉	
				③高齢者消費者被害防止（消費者見守りサポーター等の養成）												継続	廃止	要	否	地域包括支援
				④成年後見制度利用支援事業（申立経費、成年後見人報酬の支援）												継続	廃止	要	否	高齢者福祉
			過不足のない介護給付の提供・支援	①要介護認定の適正化												継続	廃止	要	否	介護認定給付
				②ケアマネジャーの質の向上													継続	廃止	要	否
③住宅改修アドバイザー事業利用の推進																継続	廃止	要	否	介護認定給付
④医療情報との突合・縦覧点検																継続	廃止	要	否	介護認定給付
⑤介護相談員派遣事業																継続	廃止	要	否	事業管理
家族介護者への支援			①家族介護者交流支援事業												継続	廃止	要	否	高齢者福祉	
			②介護教室の開催【新規】													継続	廃止	要	否	地域包括支援
			③紙おむつ給付事業													継続	廃止	要	否	高齢者福祉
			④訪問理美容助成事業													継続	廃止	要	否	高齢者福祉
地域包括支援センターの機能強化			地域包括支援センター運営事業												継続	廃止	要	否	地域包括支援	
利用者負担の軽減			①米沢市介護保険居宅サービス等利用者負担額助成事業													継続	廃止	要	否	介護認定給付
			②社会福祉法人等による利用者負担額軽減制度													継続	廃止	要	否	介護認定給付
生活支援サービスの充実			①生活支援コーディネーターの配置													継続	廃止	要	否	地域包括支援
			②高齢者等生活支援事業（生活援助員の派遣）													継続	廃止	要	否	高齢者福祉
			③愛の一声事業													継続	廃止	要	否	高齢者福祉
			④はり、きゆう、マッサージ等助成													継続	廃止	要	否	高齢者福祉
			⑤あんしん電話事業													継続	廃止	要	否	高齢者福祉
地域共生社会の理念啓発・社会の構築															継続	廃止	要	否	地域包括支援	
介護人材確保及び業務効率化の取組			①趣旨普及事業【重点】													継続	廃止	要	否	事業管理
			②介護保険事業所運営指導及び介護保険事業所集団指導													継続	廃止	要	否	事業管理
			災害や感染症対策に係る体制整備													継続	廃止	要	否	事業管理
いきがいを持つことができるまち	【住まい】 自分に合った住まいや住まい方の選択ができる	住まいの環境整備の支援	①住宅改修費支援事業										継続	廃止	要	否	介護認定給付			
			②福祉用具購入費支給事業											継続	廃止	要	否	介護認定給付		
			③高齢者等除雪援助員派遣事業											継続	廃止	要	否	高齢者福祉		
			④高齢者等雪下ろし助成事業											継続	廃止	要	否	高齢者福祉		
		高齢者の住まいの確保	①シルバーハウジング生活援助員派遣等事業（市営住宅塩井町団地におけるライフサポートアドバイザーの配置）												継続	廃止	要	否	高齢者福祉	
			②老人福祉施設入所													継続	廃止	要	否	高齢者福祉
			③高齢者生活支援短期入所事業（ショートステイ）													継続	廃止	要	否	高齢者福祉
住宅型有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅に関する情報連携強化													継続	廃止	要	否	高齢者福祉			
令和22（2040）年を見据えたサービス基盤、人的基盤の整備													継続	廃止	要	否	事業管理			

達成度 5：事業に期待される水準を大きく上回っている。 4：事業に期待される水準を上回っている。3：事業に期待される水準をほぼ満たしている。2：事業に期待される水準を下回っている。1：事業に期待される水準を大きく下回っている。

現状と課題及び今後の方針

【健康長寿】

【社会参加】

【いきがい】

現状と課題及び今後の方針

施策	介護予防、健康づくり施策の充実				
事業	①介護予防把握事業（高齢者見守り訪問員の配置）				
R7達成度	5	4	③	2	1
現状と課題	(1)事業内容				
	認知症など心身機能の低下した高齢者を早期発見するとともに、孤独感を緩和し安心した生活の継続を支援するため、見守り訪問員を配置し、週1回程度、介護保険サービスを利用していない高齢者世帯等への訪問を実施。				
	(2)実績（数値は各年度3月31日現在）				
	実績値	R6	R7	R8	
	訪問員数	8	8		
	登録者数	153	147		
	参考：8期				
	実績値	R3	R4	R5	
	訪問員数	6	6	6	
	登録者数	144	144	160	
(3)課題					
必要とする世帯が確実に事業を利用できるよう、さらなる周知を図る必要がある。R6年度の新規登録者は42人いるが、辞退者が48人おり、内訳として介護サービス利用によるものが15名と多く、次いで施設入所11名、死亡6名、入院5名、その他（本人・家族都合、不明）11名であった。					
R8に向けた 今後の方針	単身または高齢者のみ世帯の安否確認や見守り機能として、必要な高齢者が円滑に利用できるよう、引き続き、広報への掲載、民生委員及び関係機関等に広く周知を行い継続して実施していく。申請時には、事業の内容を正しく伝え、本人意向による辞退者を減らしていく。安否確認だけでなく、高齢者の心身の状況や支援の必要性を早期に把握し、地域包括支援センターにつなぐことができるよう、定例会での関係機関の情報共有を密に行っていく。				

施策	介護予防、健康づくり施策の充実				
事業	②介護予防普及啓発事業（介護予防教室等の開催）				
R7達成度	⑤ 4 3 2 1				
現状と課題	(1)事業内容 高齢者が身体機能を維持しながら介護を必要とせずいつまでも元気で暮らしていけるように運動器機能向上、栄養改善、口腔機能向上、認知症予防、閉じこもり防止、うつ予防を目的とした介護予防事業を開催する。				
	(2)実績及び目標値				
	①元気アップ教室（旧介護予防教室）				
	実績値	R6	R7	R8（目標）	
	開催回数（回）	140	140	140	
	参加者数（延人数）	2,520	2,542		
	目標値（延人数）	2,100	2,100	2,100	
	参考：8期				
	実績値	R3	R4	R5	
	開催回数（回）	98	121	140	
	参加者数（延人数）	1,148	1,652	2,109	
	②脳はつらつ教室（旧認知症予防教室）				
	実績値	R6	R7	R8（目標）	
	開催回数（回）	36	36	36	
	参加者数（延人数）	582	595		
	目標値（延人数）	576	576	576	
	参考：8期				
	実績値	R3	R4	R5	
	開催回数（回）	36	36	36	
	参加者数（延人数）	503	563	598	
	③水中足腰しっかり教室（旧泳がない！水中足腰運動教室）				
	実績値	R6	R7	R8（目標）	
	開催回数（回）	24	24	24	
	参加者数（延人数）	341	364		
	目標値（延人数）	360	360	360	
	参考：8期				
	実績値	R3	R4	R5	
開催回数（回）	24	24	24		
参加者数（延人数）	217	240	370		
④体はつらつ教室（旧地域づくり型運動教室）					
実績値	R6	R7（目標）	R8（目標）		
開催回数（回）	72	72	72		
参加者数（延人数）	1,152	1,182			
目標値（延人数）	1,080	1,080	1,080		
参考：8期					
実績値	R3	R4	R5		
開催回数（回）	72	72	72		
参加者数（延人数）	527	864	1,140		
(3)課題 フレイル予防の観点から、高齢期における低栄養に関する講話や口腔機能向上に関する講話を取り入れているが、興味のある回のみに参加する参加者もあり、回ごとに参加者数に偏りがある。					
R8に向けた今後の方針	教室全体を通しての効果や目標を参加者に周知したり、教室開催時に次回の案内を行ったりするなど、教室運営を工夫する。また、参加者が参加しやすい環境（開催日時や開催場所）や参加者への周知方法について検討していく。				

施策	介護予防、健康づくり施策の充実				
事業	③地域介護予防活動支援事業 (住民主体の通いの場立ち上げ・継続支援、介護予防推進員の育成)				
R7達成度	5	4	③	2	1
現状と課題	(1)事業内容 高齢者が歩いて通える範囲内に、年齢や心身の状況等によって高齢者を分け隔てることなく、誰でも一緒に参加することのできる場(通いの場)を立ち上げることに より、介護予防の地域展開を目指し、住民の主体的運営による通いの場の立ち上 げ支援及び継続的活動の支援を実施する。				
	(2)実績及び目標値				
	①住民主体の通いの場(シューイチ体操倶楽部)新規設置数・参加者数 総数(箇所)				
	実績値	R6	R7	R8(目標)	
	新規設置数	2	1	5	
	総数	40	39		
	参加者数	590	633	770	
	目標値(総数)	43	48	53	
	参考:8期				
	実績値	R3	R4	R5	
	新規設置数	1	4	6	
	総数	31	33	39	
	参加者数	503	491	567	
	②住民主体の通いの場(シューイチ体操倶楽部)継続支援回数(回)				
	実績値	R6	R7	R8(目標)	
継続支援回数	58	91	125		
参考:8期					
実績値	R3	R4	R5		
継続支援回数	69	112	99		
③介護予防推進員総数(人)					
実績値	R6	R7	R8(目標)		
総数	21	21	36		
参考:8期					
実績値	R3	R4	R5		
総数	8	7	7		
(3)課題 生活支援コーディネーターや地域包括支援センター等と協働し、新規の通いの場 を設置できたことは評価できるものの、通いの場の新規設置数は目標の5箇所を下 回っている。 介護予防推進員の人数は増えており、毎月定例会は開催しているものの、地域で 活動する場が少ない。 介護予防推進員自身の高齢化により、活動を継続できない人も出てきている。					
R8に向けた 今後の方針	いきいき100歳体操や米沢はっぴい体操の体験会・出前講座について周知を図る とともに、地域包括支援センターや生活支援コーディネーターとの連携により新規設 置を支援する。また、生活支援コーディネーターによる「お宝発表会」で通いの場の 必要性を啓発するほか、米沢市社会福祉協議会が作成した「令和8年4月版 米沢 市通いの場活動事例集」の周知にも取り組む。 通いの場交流会及びリーダー研修会等を継続し、内容を検討しながら、運営者側 の後方支援を行う。併せて、参加者同士の自然な支え合いの拡大に向け、生活支 援コーディネーターと連携を図り、活動の継続支援を行う。 介護予防推進員の活動の場を増やすことを目的に、通いの場の交流会やシニア レクリエーション大会で介護予防推進員が参加者へフレイル予防について伝える機 会を設ける。また、介護予防推進員の活動の様子をホームページ等で周知する。				

施策	介護予防、健康づくり施策の充実																			
事業	④地域リハビリテーション活動支援事業(住民主体の通いの場への専門職派遣)																			
R7達成度	5	4	③	2	1															
現状と課題	(1)事業内容 住民主体の通いの場に対してリハビリテーション専門職を派遣し、高齢者の能力評価・改善可能性の助言等、介護予防の取組に対する技術的指導を実施する。																			
	(2)実績及び目標値 通いの場へのリハビリテーション専門職派遣団体数(箇所)・派遣数(回)																			
	<table><tr><td>実績値</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8(目標)</td></tr><tr><td>派遣団体数(箇所)</td><td>16</td><td>16</td><td>20</td></tr><tr><td>派遣数(回)</td><td>29</td><td>25</td><td></td></tr><tr><td>目標値(回)</td><td>40</td><td>40</td><td>40</td></tr></table>				実績値	R6	R7	R8(目標)	派遣団体数(箇所)	16	16	20	派遣数(回)	29	25		目標値(回)	40	40	40
	実績値	R6	R7	R8(目標)																
	派遣団体数(箇所)	16	16	20																
	派遣数(回)	29	25																	
	目標値(回)	40	40	40																
	参考:8期																			
	<table><tr><td>実績値</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>派遣団体数(箇所)</td><td>8</td><td>11</td><td>11</td></tr><tr><td>派遣数(回)</td><td>17</td><td>25</td><td>21</td></tr></table>				実績値	R3	R4	R5	派遣団体数(箇所)	8	11	11	派遣数(回)	17	25	21				
	実績値	R3	R4	R5																
派遣団体数(箇所)	8	11	11																	
派遣数(回)	17	25	21																	
(3)課題 専門職派遣を希望したことのない団体に対し、専門職派遣の目的や効果について周知する、また、ポイント制を活用し、一定のポイントがたまった団体へ専門職を追加派遣するなどの工夫をしたが、専門職派遣の回数が目標値に到達しなかった。																				
R8に向けた今後の方針	専門職派遣を希望したことのない団体に対し、継続して目的や効果についての周知を行うほか、介護予防の必要性についての理解も図り、専門職の派遣を促進する。 シューイチ体操倶楽部以外の通いの場の団体(ふれあい・いきいきサロン)へも専門職の派遣を行い、介護予防の必要性の理解を図る。																			

施策	介護予防、健康づくり施策の充実				
事業	⑤介護予防・日常生活支援総合事業				
R7達成度	5	4	3	(2)	1
現状と課題	(1)事業内容 要支援者等の多様な生活ニーズに対応するため、従前の介護予防訪問介護及び介護予防通所介護サービスに加え、多様な主体による多様な支援を実施する。				
	(2)実績				
	実績値	R6	R7	R8(目標)	
	従前相当訪問型サービス延べ利用者数	1,120	1,498	903	
	従前相当通所型サービス延べ利用者数	5,951	6,180	7,136	
	短期集中訪問型サービス延べ利用者数	3	0	60	
	短期集中通所型サービス延べ利用者数	18	36	500	
	参考:8期				
	実績値	R3	R4	R5	
	従前相当訪問型サービス延べ利用者数	659	745	929	
従前相当通所型サービス延べ利用者数	5,345	5,271	5,553		
短期集中訪問型サービス延べ利用者数	0	0	13		
短期集中通所型サービス延べ利用者数	22	41	51		
R8に向けた今後の方針	(3)課題 従前相当サービスについては、要支援認定者の増加に伴い利用者数が増加している。国の定める介護予防・日常生活支援総合事業の上限額を超過していることから、自立支援、介護予防に資するサービス提供となっているか評価する必要がある。 短期集中サービスについては、利用者数が減少していることから、事業周知と対象者の掘り起こしを行い、更なる増加に努める。				
	自立支援型地域ケア会議におけるリハビリテーション専門職を交えた個別事例の検討を継続して実施し、自立支援に資するケアマネジメント及びサービス提供に関する評価とともに、短期集中サービス等のほか、真に必要なサービス提供につなげていく。				

施策	介護予防、健康づくり施策の充実															
事業	⑥高齢者いきいきデイサービス事業															
R7達成度	5	④	3	2	1											
現状と課題	(1)事業内容															
	概ね65歳以上で、介護保険法の要介護認定において認定なし又は非該当の高齢者を対象として、安定した在宅生活を維持できるよう、フレイル予防及び社会的孤立感を解消することを目的に、身体機能の向上、日常生活における生活機能の維持・向上並びに社会的交流の機会を提供する。															
	(2)実績															
	<table><tr><td>実績値</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>利用人数(アクティブコース)</td><td>73</td><td>72</td><td rowspan="2">コースを統一</td></tr><tr><td>利用人数(ゆったりコース)</td><td>170</td><td>198</td></tr></table>					実績値	R6	R7	R8	利用人数(アクティブコース)	73	72	コースを統一	利用人数(ゆったりコース)	170	198
	実績値	R6	R7	R8												
利用人数(アクティブコース)	73	72	コースを統一													
利用人数(ゆったりコース)	170	198														
参考:8期																
<table><tr><td>実績値</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>利用人数(アクティブコース)</td><td>51</td><td>59</td><td>69</td></tr><tr><td>利用人数(ゆったりコース)</td><td>152</td><td>142</td><td>150</td></tr></table>					実績値	R3	R4	R5	利用人数(アクティブコース)	51	59	69	利用人数(ゆったりコース)	152	142	150
実績値	R3	R4	R5													
利用人数(アクティブコース)	51	59	69													
利用人数(ゆったりコース)	152	142	150													
R8に向けた今後の方針	(3)課題															
	退会者が49名おり、その内訳として、介護認定が22名と多く、次いで身体的理由14名、その他(施設入所、内容が合わない、家族の介護等)が13名であった。当該事業は介護認定を受けると利用できないため、要介護状態となっても介護認定を受けずに本来必要な介護サービスに繋がるまでに時間を要してしまうケースもある。事業内容については、従来、2コースで活動を行ってきたが、コースの違いによる特色が薄いことから、コースの見直しや活動内容の見直しが必要。															

施策	介護予防、健康づくり施策の充実											
事業	⑦老人クラブ活動推進事業											
R7達成度	5	4	3	2	1							
現状と課題	(1)事業内容 高齢者の生きがいを高めるため、老人クラブ活動指導員1名を配置し、クラブ活動の充実と高齢者福祉の増進を図る。											
	(2)実績(数値は各年度4月1日現在)											
	<table><tr><td>実績値</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>会員数</td><td>440</td><td>385</td><td></td></tr></table>				実績値	R6	R7	R8	会員数	440	385	
	実績値	R6	R7	R8								
	会員数	440	385									
参考:8期												
<table><tr><td>実績値</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>会員数</td><td>646</td><td>615</td><td>519</td></tr></table>				実績値	R3	R4	R5	会員数	646	615	519	
実績値	R3	R4	R5									
会員数	646	615	519									
(3)課題 年々、単位クラブ数(R4:20、R5:16、R6:14、R7:13)、会員数が減少している状況を踏まえ、社会福祉協議会と協議し、若いシニア世代も抵抗なく参加できるよう、令和7年5月に「米沢市シニアクラブ連合会」へ名称変更を行ったほか、会員数を増やす取組みとして新規クラブの立ち上げ支援等を行った。その結果、令和7年度末時点では、17クラブ、473名の会員数となった。												
R8に向けた今後の方針	社会福祉協議会と連携し、シニアクラブへ参加するきっかけを多様化するため、地域の活動団体との連携や、チラシ、ホームページ、SNSで魅力を発信し、高齢になってもいきいきと活躍する姿を広く市民へ周知し、地域づくりの推進を図っていく。											

施策	介護予防、健康づくり施策の充実											
事業	⑧老人体育レクリエーション大会事業											
R7達成度	5	4	③	2	1							
現状と課題	(1)事業内容 スポーツを通じて、健康の保持と相互の親睦を図り、老後の生活を豊かなものとするために、昭和50年から市と市教育委員会、社会福祉協議会及び老人クラブ連合会が主催となり、年1回開催している。											
	(2)実績											
	<table><tr><td>実績値</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>参加人数</td><td>202</td><td>159</td><td></td></tr></table>				実績値	R6	R7	R8	参加人数	202	159	
	実績値	R6	R7	R8								
	参加人数	202	159									
参考:8期												
<table><tr><td>実績値</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>参加人数</td><td>新型コロナウイルス予防のため中止</td><td>282</td><td>前日の大雨警報のため中止</td></tr></table>				実績値	R3	R4	R5	参加人数	新型コロナウイルス予防のため中止	282	前日の大雨警報のため中止	
実績値	R3	R4	R5									
参加人数	新型コロナウイルス予防のため中止	282	前日の大雨警報のため中止									
(3)課題 単位クラブや会員数の減少に伴い、参加人数が減少しており、シニアクラブ自体の活性化に向けた取り組みが必要。												
R8に向けた今後の方針	スポーツを通じて高齢者の健康の保持・増進が図られていること、またシニアクラブ相互の交流が図られていること等、事業の効果も大きいと考えられる。参加者の平均年齢も高くなってきていることから、参加しやすく安全に競技できる内容を検討するとともに、これまで6月に開催してきたが、熱中症予防の観点から秋に開催するなど開催時期の検討も行っていく。また、シニアクラブ自体の活性化が必要であることから、新規加入者が増えるようにシニアクラブの活動について広く発信していく。											

施策	介護予防、健康づくり施策の充実																				
事業	⑨高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施【重点】																				
R7達成度	5	4	③	2	1																
現状と課題	(1)事業内容																				
	75歳到達による医療保険制度の異動に伴い、保健事業の主体が切り替わることから、医療保険制度の保健事業と介護保険制度の介護予防事業に一体的に取り組み、年齢による切れ目のない保健事業（ハイリスクアプローチ、ポピュレーションアプローチ）を展開する。																				
	(2)実績																				
	(ポピュレーションアプローチ)																				
	通いの場等を対象としたフレイルに関する健康教育・健康相談を実施																				
	<table><tr><td>実績値</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8(目標)</td></tr><tr><td>開催回数(回)</td><td>18</td><td>15</td><td>15</td></tr><tr><td>参加者数(人)</td><td>210</td><td>159</td><td>165</td></tr><tr><td>フレイル理解度(%)</td><td>75.0%</td><td>84.6%</td><td>80.0%</td></tr></table>				実績値	R6	R7	R8(目標)	開催回数(回)	18	15	15	参加者数(人)	210	159	165	フレイル理解度(%)	75.0%	84.6%	80.0%	
	実績値	R6	R7	R8(目標)																	
	開催回数(回)	18	15	15																	
	参加者数(人)	210	159	165																	
	フレイル理解度(%)	75.0%	84.6%	80.0%																	
(ハイリスクアプローチ)																					
健康状態不明者(令和5年度及び令和6年度健診未受診者かつ医療、歯科レセプトなしかつ介護認定なしの者)のうち令和7年中に76歳に到達する者35名を対象に実態把握を実施。																					
実態把握の結果、医療リスクあり10名、介護リスクあり1名、リスクなし23名、拒否0名、不在1名であり、最終的に介護リスクあり1名を地域包括支援センターに繋ぐことができた。																					
※ポピュレーションアプローチは、集団全体のリスクを低減させるような取組を指し、健康教室・健康相談・普及啓発などが該当する。(高齢福祉課が実施) ※ハイリスクアプローチは、重症化予防等の高齢者に対する個別的支援。(健康課が実施)																					
R8に向けた 今後の方針	(3)課題																				
	(ポピュレーションアプローチ)																				
	フレイルの認知度が初回アンケートでは46.2%と半数を切っており、フレイル予防の重要性について市民への周知が不足している。																				
	1か所につき計5回実施の継続開催はできたが、教室の開催頻度が月1回であったため、参加者のセルフケア習慣化には課題が残った。																				
	(ハイリスクアプローチ)																				
	健診や病院の受診を勧めても申込や受診に至る人が少ない。																				
	マンパワー等の課題があり、対象者数が多いことから、早急に取り組む必要があると判断できる、重症化予防(糖尿病性腎症)等には取り組めていない。																				
	(ポピュレーションアプローチ)																				
	引き続き地域の通いの場3か所を対象にフレイル予防講座を開催し、市民へのフレイル予防の普及啓発を継続していく。																				
	教室は介護予防の方法を習得する場として位置付け、参加者が自宅でセルフケアを継続できる方策を検討する。																				
	(ハイリスクアプローチ)																				
	受診の必要性を感じている人が確実に受診につながるよう、情報や利用できるサービスを提示しフォローしていく。																				
	引き続き、健康状態不明者への介入を行う。また、令和8年度からは、対象者を絞り込むことにより、新たに重症化予防(糖尿病性腎症、その他生活習慣病)にも取り組むこととする。																				

施策	介護予防、健康づくり施策の充実				
事業	⑩高齢者温泉利用福祉事業				
R7達成度	5	4	③	2	1
現状と課題	(1)事業内容 高齢者に対する低料金での入浴、高齢者の憩いの場、いきいきデイサービス事業の会場、介護が必要な高齢者や障害者の入浴など、温泉を利用した福祉サービスの提供を実施する。				
	(2)実績				
	実績値	R6	R7	R8	
	日帰り温泉利用	5,576人	5,728人		
	高齢者団体等の利用	72人	44人		
	障がい者の温泉利用	6人	15人		
	いきいきデイサービス利用者	293人	149人		
	小町教室	296人	272人		
	認知症カフェ	1人	6人		
	総利用人数	6,244人	6,214人		
(3)課題					
・11回の回数券の配布等により、日帰り入浴者数は年々増加している。 ・高齢者福祉に資する事業として小町教室(趣味の講座)の参加者はリピーターが多いものの、アンケート調査による満足度は9割以上である。					
R8に向けた今後の方針	・小町教室の新規参加者を増やすため、SNS発信による周知。 ・いきいきデイサービス事業としての会場、認知症カフェの利用者を増やす取り組みとして、社会福祉協議会との連携やコミセンでの周知を図っていく。				

施策	認知症施策の推進																							
事業	①認知症サポーターの養成																							
R7達成度	5	④	3	2	1																			
現状と課題	(1)事業内容 認知症になっても安心して暮らせるまちを目指し、認知症の人やその家族を見守り支援する認知症サポーター及びサポーター養成講座の講師となるキャラバン・メイトを養成する。																							
	(2)実績及び目標値 認知症サポーター養成講座																							
	<table><tr><td>実績値</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8(目標)</td></tr><tr><td>養成講座開催数(回)</td><td>55</td><td>41</td><td>50</td></tr><tr><td>養成数(人)</td><td>552</td><td>572</td><td>500</td></tr><tr><td>養成者総数(延人数)</td><td>9,658</td><td>10,230</td><td></td></tr><tr><td>目標値(延人数)</td><td>9,497</td><td>9,997</td><td>10,497</td></tr></table>				実績値	R6	R7	R8(目標)	養成講座開催数(回)	55	41	50	養成数(人)	552	572	500	養成者総数(延人数)	9,658	10,230		目標値(延人数)	9,497	9,997	10,497
	実績値	R6	R7	R8(目標)																				
	養成講座開催数(回)	55	41	50																				
	養成数(人)	552	572	500																				
	養成者総数(延人数)	9,658	10,230																					
	目標値(延人数)	9,497	9,997	10,497																				
	参考:8期																							
	<table><tr><td>実績値</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>養成講座開催数(回)</td><td>29</td><td>42</td><td>55</td></tr><tr><td>養成数(人)</td><td>267</td><td>412</td><td>609</td></tr><tr><td>養成者総数(延人数)</td><td>8,085</td><td>8,497</td><td>9,106</td></tr></table>				実績値	R3	R4	R5	養成講座開催数(回)	29	42	55	養成数(人)	267	412	609	養成者総数(延人数)	8,085	8,497	9,106				
実績値	R3	R4	R5																					
養成講座開催数(回)	29	42	55																					
養成数(人)	267	412	609																					
養成者総数(延人数)	8,085	8,497	9,106																					
(3)課題 認知症サポーター養成講座の受講者は高齢者が多く、学生等の若年層や親を介護する年代である壮年期の受講者数が少ない。 認知症サポーターとしての活動を希望するが、何をすればよいか分からず、実際の活動に繋がらないケースもある。																								
R8に向けた 今後の方針																								
学生等の若年層及び親を介護する年代である壮年期を対象とした認知症サポーター養成講座の開催に向けて、学校、企業と連携を図り、認知症に関する理解促進に取り組む。また、認知症の人と接する機会が多いことが想定される小売業、タクシー会社、金融機関などの幅広い職域でサポーターを養成し、認知症バリアフリーを推進する。 認知症サポーター同士で意見交換などができるよう、認知症サポーター交流会を開催する。さらに、認知症サポーターを対象に、ステップアップ講座を開催し、チームオレンジの立ち上げにつなげる。																								
※チームオレンジ 地域で暮らす認知症の人や家族の困りごとの支援ニーズと認知症サポーターを結びつけるためにチームを組んで取り組むこと。チーム員は、本人・家族を含む地域サポーターと多職種の地域サポーター。主な活動内容は、外出支援、見守り、声かけ、話し相手、認知症の人の居宅へ出向く出前支援等。R4に板谷地区を中心とした「チーム板谷」、R6に上郷地区を中心とした「上郷オレンジ」が設置された。																								
※認知症バリアフリー 認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けられるための障壁を減らせるように企業・団体と連携して社会全体で支え合うこと。																								

施策	認知症施策の推進				
事業	②相談先の周知				
R7達成度	5	4	③	2	1
現状と課題	(1)事業内容 地域の高齢者の保健医療・介護等に関する総合相談窓口である地域包括支援センターをはじめとする認知症に関する相談体制を整備し、周知を図る。その際、「認知症になってもあんしん 米沢版サポートブック」(以下、ケアパスという)を活用し、認知症に関する基礎的な情報や医療機関等についての情報提供を実施する。				
	(2)実績				
		R6	R7	R8	
	認知症・精神保健に関する相談件数	1,099	881		
	参考:8期				
	実績値	R3	R4	R5	
認知症・精神保健に関する相談件数	931	736	1,057		
R8に向けた今後の方針	(3)課題 第9期介護保険事業計画策定にあたり実施した日常生活圏域ニーズ調査において、「認知症に関する相談窓口を知っていますか」という質問に「はい」と答えた人の割合が27.0%と認知度が低い。				
	ケアパスや認知症地域支援推進員通信「おらだの声」に相談窓口を掲載し、市民に周知する。また、ケアパスの内容を見直し、相談窓口の周知方法を検討する。 免許証を返納した人にケアパスを見てもらえるよう、引き続き米沢警察署交通課にケアパスを設置し、周知を図る。 市内医療機関へ認知症ケアパスやカフェー覧、おらだの声等の設置を依頼する。特に初期集中支援チームがある米沢こころの病院は必ず設置依頼をし、積極的な活用を呼びかける。				

施策	認知症施策の推進				
事業	③認知症の人本人からの発信支援				
R7達成度	5	4	③	2	1
現状と課題	(1)事業内容 「世界アルツハイマー月間」に合わせたイベント等を通じ、認知症の理解促進と認知症の人本人及び家族に対する支援を考えるとともに、地域で暮らす認知症の人本人からの発信の機会が増えるよう情報発信を実施する。				
	(2)実績				
		R6	R7	R8	
	おれんじドアの開催数(回)	5	12		
	※おれんじドア：R6.11月から開催				
	(3)課題 認知症の人本人の声を発信できる機会が少ない。また、認知症カフェ等への認知症の当事者の参加が非常に少ない。				
R8に向けた今後の方針	認知症の人が自ら発信し、認知症に関する知識及び認知症の人に関する理解を深めるための活動を行う「やまがた共生オレンジ大使」として、米沢市在住の若年性認知症の方が任命されたため、その活動を支援する。 また、認知症サポーター養成講座等に認知症の人の声を取り入れたり、市民ホールに、認知症当事者の声、制作した作品等を展示し、発信の機会を増やす。				

施策	認知症施策の推進																			
事業	④認知症予防の推進																			
R7達成度	5 4 ③ 2 1																			
現状と課題	(1)事業内容 介護予防教室による健康づくり、通いの場への参加による人とのつながり、その他、社会参加等を通じた多様な認知症予防の取り組みを実施する。																			
	(2)実績																			
	①脳はつらつ教室(旧認知症予防教室)																			
	<table><tr><td>実績値</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8(目標)</td></tr><tr><td>開催回数(回)</td><td>36</td><td>36</td><td>36</td></tr><tr><td>参加者数(延人数)</td><td>582</td><td>595</td><td></td></tr><tr><td>目標値(延人数)</td><td>576</td><td>576</td><td>576</td></tr></table>				実績値	R6	R7	R8(目標)	開催回数(回)	36	36	36	参加者数(延人数)	582	595		目標値(延人数)	576	576	576
	実績値	R6	R7	R8(目標)																
	開催回数(回)	36	36	36																
	参加者数(延人数)	582	595																	
	目標値(延人数)	576	576	576																
	参考:8期																			
	<table><tr><td>実績値</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>開催回数(回)</td><td>36</td><td>36</td><td>36</td></tr><tr><td>参加者数(延人数)</td><td>503</td><td>563</td><td>598</td></tr></table>				実績値	R3	R4	R5	開催回数(回)	36	36	36	参加者数(延人数)	503	563	598				
実績値	R3	R4	R5																	
開催回数(回)	36	36	36																	
参加者数(延人数)	503	563	598																	
②住民主体の通いの場(シューイチ体操倶楽部)新規設置数																				
<table><tr><td>実績値</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8(目標)</td></tr><tr><td>新規設置数</td><td>2</td><td>1</td><td>5</td></tr><tr><td>総数</td><td>40</td><td>39</td><td></td></tr><tr><td>目標値(総数)</td><td>43</td><td>48</td><td>53</td></tr></table>				実績値	R6	R7	R8(目標)	新規設置数	2	1	5	総数	40	39		目標値(総数)	43	48	53	
実績値	R6	R7	R8(目標)																	
新規設置数	2	1	5																	
総数	40	39																		
目標値(総数)	43	48	53																	
参考:8期																				
<table><tr><td>実績値</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>新規設置数</td><td>1</td><td>4</td><td>6</td></tr><tr><td>総数</td><td>31</td><td>33</td><td>39</td></tr></table>				実績値	R3	R4	R5	新規設置数	1	4	6	総数	31	33	39					
実績値	R3	R4	R5																	
新規設置数	1	4	6																	
総数	31	33	39																	
(3)課題																				
通いの場での認知症サポーター養成講座の受講を勧奨しているものの、実際に受講まで至らない。 認知症月間(9月)の周知には力を入れているが、認知症予防の日(6/14)の周知が不足している。																				
R8に向けた 今後の方針	引き続き、脳はつらつ教室を年3コース(春コース、秋コース、冬コース)開催する。 通いの場の交流会やリーダー研修会を継続する。また、通いの場に対し、認知症サポーター養成講座や「新しい認知症観」の周知に取り組む。 認知症予防の日(6/14)について、市政モニター、市公式SNS(LINE、X(旧Twitter))での周知する。 市民ホールで認知症予防の日に関する展示を実施する。(期間:6/2～6/15、内容:認知症予防の日及び7/7開催の認知サポ周知)																			

施策	認知症施策の推進				
事業	⑤認知症初期集中支援チームの配置				
R7達成度	5	4	3	(2)	1
現状と課題	(1)事業内容 認知症が疑われる人等に対し、適切な医療・介護サービスにつなげていくための医師をはじめとした専門職による支援チームを米沢こころの病院に設置し、地域包括支援センターからの相談対応や助言・指導のほか個別事例対応等、必要な支援を実施する。				
	(2)実績				
	実績値	R6	R7	R8	
	医療・介護サービスに繋がった者の割合(%)	100	※介入ケースなし		
	目標値(%)	100	100	100	
	参考:8期				
	実績値	R3	R4	R5	
	支援件数	3	1	1	
	(3)課題 認知症初期集中支援チームの介入を必要とするような、いわゆる多問題を抱える認知症等の人はいるものの、既に医療や介護サービスを利用しているケースが多く、相談につなげられない。 支援チーム介入のハードルが高く、地域包括支援センターが介入依頼をしても経過観察になることが多かったため、地域包括支援センターが事例提供することをためらってしまう場合が多い。 支援チーム員が、受診者の家族等で、訪問支援の対象と思われる市民を発見した場合でも、地域包括支援センターと情報共有ができていない。				
R8に向けた今後の方針	地域の関係者・機関等と連携し、支援チームの介入を必要とする人の早期発見、早期対応を図るため、チーム医及び支援チームとの連携のもと、介護支援専門員や医療機関等に対する事業の周知を強化する。 支援チーム員と地域包括支援センター職員（認知症地域支援推進員を含む）との定例会議を原則月1回開催し、個別事例への助言や必要な情報共有を行う。また、相談事例がない場合でも、認知症に関する専門知識の勉強会等を実施し、地域包括支援センター職員の認知症に関する対応力の向上を支援する。 訪問支援の対象者と思われる市民の情報を、支援チーム員が直接把握した場合は地域包括支援センターへ情報提供する。				

施策	認知症施策の推進				
事業	⑥認知症地域支援推進員の活動推進				
R7達成度	5	④	3	2	1
現状と課題	(1)事業内容 認知症地域支援推進員を各地域包括支援センターに配置し、認知症の人や家族の相談対応、認知症の人に対し状態に応じた適切なサービスが提供されるよう支援関係者の連携づくり、本市認知症ケアパス「認知症になってもあんしん 米沢版サポートブック」の作成・活用の推進、認知症カフェの開催及び立ち上げ支援等、地域の実情に応じ必要な支援を実施する。				
	(2)実績				
	①認知症カフェ総数				
	実績値	R6	R7	R8	
	総数(箇所)	16	17		
	目標値(箇所)	11	12	13	
	参考:8期				
	実績値	R3	R4	R5	
	総数(箇所)	6	6	11	
	②認知症地域支援推進員数				
	R6	R7	R8(R8.4.1時点)		
総数(人)	9	10	12		
基幹型地域包括支援センター、各地域包括支援センターに配置					
参考:8期					
	R3	R4	R5		
総数(人)	8	9	11		
(3)課題					
認知症カフェの数は年々増加しているものの、認知症の当事者やその家族の参加は少ない。					
R8に向けた今後の方針	認知症地域支援推進員が主催する認知症カフェ「おらだのカフェ」を継続する。また、地域支援コーディネーターと連携し、新規で認知症カフェの開催を検討している方を発見し、開催に向けた支援を行う。 認知症カフェの継続開催支援として、認知症地域支援推進員が主体となり、認知症カフェ情報交換会を開催する。この情報交換会では、認知症カフェ運営の代表者及び担当者が抱える課題や悩みの解決に向けた検討、認知症に関する情報共有などを行う。				

施策	認知症施策の推進															
事業	⑦家族介護者への支援															
R7達成度	5	4	③	2	1											
現状と課題	(1)事業内容 ア)周知啓発・相談体制強化 介護支援専門員や地域包括支援センターによる相談対応を通じ、サービス利用等の認知症の人本人に対する支援のほか、認知症に関する理解促進や介護者の精神的負担軽減等家族介護者に対する支援を実施する。															
	イ)徘徊高齢者等支援事業(事前登録制度「かえっぺ」) 徘徊により行方不明の恐れのある認知症高齢者等の情報を関係機関で共有し、行方不明時の早期に発見による当該徘徊高齢者等の安全の確保及び、その家族への支援を行う。															
	(2)実績 徘徊高齢者等支援事業(事前登録制度「かえっぺ」)															
	<table><tr><td>実績値</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>延べ登録者数(人)</td><td>278</td><td>296</td><td></td></tr><tr><td>目標値(人)</td><td>288</td><td>318</td><td>348</td></tr></table>				実績値	R6	R7	R8	延べ登録者数(人)	278	296		目標値(人)	288	318	348
	実績値	R6	R7	R8												
延べ登録者数(人)	278	296														
目標値(人)	288	318	348													
参考:8期 <table><tr><td>実績値</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>延べ登録者数(人)</td><td>196</td><td>228</td><td>255</td></tr></table>				実績値	R3	R4	R5	延べ登録者数(人)	196	228	255					
実績値	R3	R4	R5													
延べ登録者数(人)	196	228	255													
R8に向けた今後の方針	(3)課題 第9期介護保険事業計画策定にあたり実施した在宅介護実態調査において、主な介護者が不安に感じる介護の回答において、「認知症状への対応」が33.9%と最も高い。															
	認知症の当事者と家族を一体的に支援できる事業の実施に向け、情報収集を行う。 家族同士のピア活動や介護専門職との情報共有の場として活用してもらえるよう、認知症カフェを紹介する。 認知症により行方不明になった場合、早期発見・早期保護につながるよう、徘徊高齢者等支援事業(事前登録制度「かえっぺ」)を周知する。具体的には、認知症サポーター養成講座内での「かえっぺ」の紹介、認知症に関する相談を受けた際の情報提供を積極的に行う。															

施策	認知症施策の推進											
事業	⑧認知症バリアフリーの推進											
R7達成度	5	4	③	2	1							
現状と課題	(1)事業内容 認知症の人本人の状況に合った社会参加が可能となるよう、地域で暮らし続けるための困りごと、障壁を減らしていくための様々な取り組みを実施する。											
	(2)実績											
	<table><tr><td>実績値</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>健康長寿応援団の登録数 (こころの健康づくりの宣言分野での登録)</td><td>2</td><td>2</td><td></td></tr></table>				実績値	R6	R7	R8	健康長寿応援団の登録数 (こころの健康づくりの宣言分野での登録)	2	2	
	実績値	R6	R7	R8								
健康長寿応援団の登録数 (こころの健康づくりの宣言分野での登録)	2	2										
※こころの健康づくりの宣言分野で認知症サポーターがいることを宣言している団体 (道の駅よねざわ・社会福祉法人敬友会おいたまの郷)												
R8に向けた今後の方針	(3)課題 認知症サポーター養成講座の中で、企業として取り組むことが可能なことを健康長寿応援団の登録に合わせて宣言してもらっているが、認知症サポーター養成講座を受講する企業数、宣誓する企業数ともに少ない。											
	認知症サポーター養成講座を受講した企業に対し、健康長寿応援団への登録を勧奨する。 認知症の人と接する機会が多いことが想定される小売業、タクシー会社、金融機関などを中心に認知症サポーター養成講座の受講を勧奨する。 認知症で行方不明になった場合でも、早期発見・早期保護ができるよう、徘徊高齢者等支援事業(事前登録制度「かえっぺ」)を推進する。 認知症サポーターの活動強化のために、認知症サポーター交流会を開催するとともに、認知症サポーターへのステップアップ講座の開催や、市のホームページによる認知症サポーター活動の周知を行う。											

施策	認知症施策の推進				
事業	⑨若年性認知症の人への支援【新規】				
R7達成度	5	4	③	2	1
現状と課題	(1)事業内容 若年性認知症に関する支援体制を構築するため、若年性認知症支援コーディネーターと認知症地域支援推進員及び地域包括支援センターとの情報交換等、ネットワーク構築を実施する。 (2)実績 若年性認知症の当事者への活動支援として、認知症カフェ「おれんじドア米沢」の活動継続を支援した。また、米沢市医師会主催の認知症フォーラムの中で、「やまがた共生オレンジ大使」である及川昌秀氏（若年性認知症当事者）から参加者へメッセージを伝える機会を設けた。 ※やまがた共生オレンジ大使 山形県が設置している、認知症の人が自ら発信し、認知症に関する知識及び認知症の人に関する理解を深めるための活動を行う地域版の認知症希望大使。 及川氏は令和7年3月25日任命。 (3)課題 介護保険サービスを利用していない若年性認知症の方の実態把握が難しい。				
R8に向けた今後の方針	若年性認知症と診断された方の生活実態把握、本人の声を拾う、オレンジドア米沢の参加につなげるため、若年性認知症を担当している担当介護支援専門員と情報交換を行う。また、若年性認知症支援コーディネーターとの連携を図っていく。				

施策	認知症施策の推進				
事業	⑩地域の見守り体制の構築支援(チームオレンジの整備)【重点】				
R7達成度	5	4	③	2	1
現状と課題	(1)事業内容 認知症であってもなくても、同じ地域で共に生きる「地域共生社会の実現」を目指し、地域住民や様々な職種の認知症サポーターがチームを組み、認知症の人や家族に対する生活面の早期からの支援等を行う仕組みである「チームオレンジ」の整備を実施する。				
	(2)実績				
	実績値	R6	R7	R8	
	総数(箇所)	2	2		
	参考:8期				
	実績値	R3	R4	R5	
	総数(箇所)	0	1	1	
	(3)課題 チームオレンジの認知度が低い。 令和7年度は、チームオレンジの新規立ち上げが0件。				
R8に向けた 今後の方針	チームオレンジ立ち上げの前段階として、認知症サポーターを増やすため、生活支援コーディネーター等の協力も得ながら、通いの場に対し、認知症サポーター養成講座の受講を勧奨する。 チームオレンジの立ち上げや運営を支援し、認知症サポーターと支援を必要とする人々を繋ぐ役割を担うチームオレンジコーディネーターを中心に、活動サポーターを増やし、チームオレンジへと発展させていけるようステップアップ講座やチームオレンジについて周知を図る。				

施策	在宅医療・介護連携体制の充実																
事業	在宅医療・介護連携推進事業（在宅医療・介護連携支援センターの設置）																
R7達成度	5	4	③	2	1												
現状と課題	(1)事業内容 令和4年度まで米沢市立病院に設置していた在宅医療・介護連携支援センターを令和5年度からは直営型として運営した。在宅医療・介護連携に関する相談への対応、医療・介護関係者の情報共有支援、会議や研修会を開催し、切れ目ない在宅医療と在宅介護の提供体制を構築する。																
	(2)実績																
	①講演会・研修会等																
	<table><tr><td></td><td>内容</td></tr><tr><td>R3</td><td>映画「ピア～まちをつなぐもの～最期の願いは僕たちが支える」 （オンライン上映会）</td></tr><tr><td>R4</td><td>住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるために元気なうちから 考えてみませんか ～おしよしなノートを使ってみよう～</td></tr><tr><td>R5</td><td>もしもにそなえる「終活」なるほど教室（出前講座） 映画「オレンジランプ」認知症総合支援事業との合同開催 （映画上映会）</td></tr><tr><td>R6</td><td>はじめて学ぶ在宅医療（出前講座） ”もしもに”備える「終活」なるほど教室（出前講座）</td></tr><tr><td>R7</td><td>緩和ケア研修会（山形県在宅医療推進事業との共同）、 置賜地区摂食嚥下セミナー、研修会（置賜地区摂食嚥下支援事業 との共同）、終活セミナー研修会（置賜成年後見センター主催）</td></tr></table>						内容	R3	映画「ピア～まちをつなぐもの～最期の願いは僕たちが支える」 （オンライン上映会）	R4	住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるために元気なうちから 考えてみませんか ～おしよしなノートを使ってみよう～	R5	もしもにそなえる「終活」なるほど教室（出前講座） 映画「オレンジランプ」認知症総合支援事業との合同開催 （映画上映会）	R6	はじめて学ぶ在宅医療（出前講座） ”もしもに”備える「終活」なるほど教室（出前講座）	R7	緩和ケア研修会（山形県在宅医療推進事業との共同）、 置賜地区摂食嚥下セミナー、研修会（置賜地区摂食嚥下支援事業 との共同）、終活セミナー研修会（置賜成年後見センター主催）
		内容															
	R3	映画「ピア～まちをつなぐもの～最期の願いは僕たちが支える」 （オンライン上映会）															
	R4	住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるために元気なうちから 考えてみませんか ～おしよしなノートを使ってみよう～															
	R5	もしもにそなえる「終活」なるほど教室（出前講座） 映画「オレンジランプ」認知症総合支援事業との合同開催 （映画上映会）															
	R6	はじめて学ぶ在宅医療（出前講座） ”もしもに”備える「終活」なるほど教室（出前講座）															
	R7	緩和ケア研修会（山形県在宅医療推進事業との共同）、 置賜地区摂食嚥下セミナー、研修会（置賜地区摂食嚥下支援事業 との共同）、終活セミナー研修会（置賜成年後見センター主催）															
	②発行物																
	<table><tr><td>R3</td><td>在宅医療一覧、医療と介護のパンフレット</td></tr><tr><td>R4</td><td>在宅医療一覧、医療と介護のパンフレット おしよしなノート【米沢版エンディングノート】</td></tr><tr><td>R5</td><td>在宅医療一覧 おしよしなノート【米沢版エンディングノート】</td></tr><tr><td>R6</td><td>在宅医療一覧 おしよしなノート【米沢版エンディングノート】</td></tr><tr><td>R7</td><td>在宅医療処置一覧 おしよしなノート【米沢版エンディングノート】</td></tr></table>					R3	在宅医療一覧、医療と介護のパンフレット	R4	在宅医療一覧、医療と介護のパンフレット おしよしなノート【米沢版エンディングノート】	R5	在宅医療一覧 おしよしなノート【米沢版エンディングノート】	R6	在宅医療一覧 おしよしなノート【米沢版エンディングノート】	R7	在宅医療処置一覧 おしよしなノート【米沢版エンディングノート】		
	R3	在宅医療一覧、医療と介護のパンフレット															
	R4	在宅医療一覧、医療と介護のパンフレット おしよしなノート【米沢版エンディングノート】															
	R5	在宅医療一覧 おしよしなノート【米沢版エンディングノート】															
R6	在宅医療一覧 おしよしなノート【米沢版エンディングノート】																
R7	在宅医療処置一覧 おしよしなノート【米沢版エンディングノート】																
③相談支援数（件）																	
<table><tr><td>実績値</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>相談支援数（件）</td><td>16</td><td>22</td><td></td></tr></table>					実績値	R6	R7	R8	相談支援数（件）	16	22						
実績値	R6	R7	R8														
相談支援数（件）	16	22															
参考：8期																	
<table><tr><td>実績値</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>相談支援数（件）</td><td>20</td><td>20</td><td>19</td></tr></table>					実績値	R3	R4	R5	相談支援数（件）	20	20	19					
実績値	R3	R4	R5														
相談支援数（件）	20	20	19														
(3)課題																	
在宅医療・介護連携支援センターを三友堂病院に委託していることから、医療関係者とのつながりは強いが、介護関係者とのつながりが弱い。																	
R8に向けた 今後の方針	在宅医療の連携強化を図るため、山形県保健医療計画に定める在宅医療に必要な連携を担う拠点である三友堂病院に在宅医療・介護連携支援センター業務の委託を行う。 介護関係団体が主催する会議のうち、在宅医療・介護連携支援センターも参加可能なものがあれば、随時、情報提供を行う。																

施策	社会参加と生きがい対策				
事業	①高齢者労働能力活用事業(米沢市シルバー人材センターの運営支援)				
R7達成度	5	4	③	2	1
現状と課題	(1)事業内容 高齢者のライフスタイルに合わせた就業等の機会を提供するとともに、社会参加を通じて、健康で生きがいのある生活の実現を目指す。				
	(2)実績				
	実績値	R6	R7	R8	
	会員数(人)	395	411		
	実績値	R3	R4	R5	
	会員数(人)	383	371	384	
	(3)課題 特に外仕事(草刈り・除草・雪囲い等)の需要が依然として高い一方、担当会員の高齢化や退会により十分な作業体制を確保することが難しい。R7年度には会員増加に向けた取り組みを進めてきたが、引き続き安定的な就業体制の構築を行っていく。				
R8に向けた今後の方針	高齢者が個々に持つ多様な能力を活かし就労の機会を図るために、今後本事業が果たす役割は大きい。また、社会の支え手となる人材を確保し、高齢者の日常生活を支援することは、高齢社会を支える上で必要不可欠であることから会員数や就業率向上を目指し、継続して運営支援を行う。				

施策	社会参加と生きがい対策											
事業	②生きがいと創造の事業											
R7達成度	5	4	③	2	1							
現状と課題	(1)事業内容 高齢者が持っている豊富な経験と知識、趣味や研修で習得した技能を生かし、参加した仲間と一緒に意欲的に創造活動や生産活動を行うことで老後の生きがいをより一層高め、心身の健康と潤いある生活を図ることを目的に実施する。											
	(2)実績											
	<table><tr><td>実績値</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>会員数(実)</td><td>40</td><td>42</td><td></td></tr></table>					実績値	R6	R7	R8	会員数(実)	40	42
実績値	R6	R7	R8									
会員数(実)	40	42										
R8に向けた 今後の方針	(3)課題 会員の高齢化により、7部会中3部会が休止となっている。また、長期会員の方が多いことから、展示会などに来場した方が活動に興味を示しても、「入会しても活動に着いていけないのではないか」と心配になり入会に至らないケースもある。											
	会員の意欲増進を図るため、展示会開催などについて工夫を図っていく。会員数を増やす取組みとして、展示会での日頃の活動内容の発信、会員募集のチラシを配布するほか、初心者の方でも入会しやすい体制づくりを会員とともにやっていく。											

施策	社会参加と生きがい対策																
事業	③敬老祝金等支給事業																
R7達成度	5	4	③	2	1												
現状と課題	(1)事業内容 高齢者に対して、敬老の意を表し、併せて敬老思想の高揚を図ることを目的として、寿詞等を贈呈する。																
	(2)実績																
	令和6年度																
	<table><tr><td>対象年齢</td><td>祝品等</td><td>贈呈人数</td></tr><tr><td>米寿(88歳)</td><td>寿詞及び額</td><td>629</td></tr><tr><td>長寿(100歳)</td><td>寿詞(額)及び祝金(10万円)</td><td>54</td></tr><tr><td>101歳以上</td><td>メッセージカード及び笹野一刀彫(巳)</td><td>96</td></tr></table>					対象年齢	祝品等	贈呈人数	米寿(88歳)	寿詞及び額	629	長寿(100歳)	寿詞(額)及び祝金(10万円)	54	101歳以上	メッセージカード及び笹野一刀彫(巳)	96
	対象年齢	祝品等	贈呈人数														
米寿(88歳)	寿詞及び額	629															
長寿(100歳)	寿詞(額)及び祝金(10万円)	54															
101歳以上	メッセージカード及び笹野一刀彫(巳)	96															
令和7年度																	
	<table><tr><td>対象年齢</td><td>祝品等</td><td>贈呈人数</td></tr><tr><td>米寿(88歳)</td><td>メッセージカード</td><td>591</td></tr><tr><td>長寿(100歳)</td><td>寿詞(額)及び祝金(10万円)</td><td>65</td></tr><tr><td>101歳以上</td><td>メッセージカード及び笹野一刀彫(午)</td><td>89</td></tr></table>					対象年齢	祝品等	贈呈人数	米寿(88歳)	メッセージカード	591	長寿(100歳)	寿詞(額)及び祝金(10万円)	65	101歳以上	メッセージカード及び笹野一刀彫(午)	89
対象年齢	祝品等	贈呈人数															
米寿(88歳)	メッセージカード	591															
長寿(100歳)	寿詞(額)及び祝金(10万円)	65															
101歳以上	メッセージカード及び笹野一刀彫(午)	89															
	(3)課題 米寿の方へは、令和6年度まで寿詞及び額を贈呈していたが、処分や飾る場所がない等の意見があったことから、令和7年度より「メッセージカード」を贈呈した。「メッセージカード」は二次元コードを読み取ることで市長からのお祝いメッセージ動画を視聴できるものであり、市内コミュニティセンターで視聴できるようにしたが、対象者から操作等の問題で「うまく視聴できない」との声があった。																
R8に向けた今後の方針	市内コミュニティセンターでの視聴の他に、令和8年度からは市のホームページにも掲載する。																

現状と課題及び今後の方針

【支え合い・助け合い】

現状と課題及び今後の方針

施策	尊厳ある暮らしのための支援と成年後見の充実											
事業	①置賜成年後見センターの運営											
R7達成度	5	4	③	2	1							
現状と課題	(1)事業内容 置賜3市5町における権利擁護支援体制の中核的な役割を担うため、令和4年4月1日に「置賜成年後見センター」を設置した。置賜地域での権利擁護支援が推進されるよう、各市町の担当課や関係機関からの二次的な相談対応を行い、後見人等の選任がスムーズに行われるよう受任調整会議の開催等を実施する。											
	(2)実績											
	<table><tr><td>実績値</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>市民後見人養成者数</td><td>0</td><td>0</td><td></td></tr></table>					実績値	R6	R7	R8	市民後見人養成者数	0	0
実績値	R6	R7	R8									
市民後見人養成者数	0	0										
R8に向けた今後の方針	(3)課題 令和6年度から置賜成年後見センター主催で市民後見人養成研修の実施を予定していたが、山形県が同年度から「山形県権利擁護人材育成事業」として県内全域を対象に市民後見人養成研修を実施することとなった背景等から、置賜成年後見センター主催での実施を見送った。山形県が主催する市民後見人養成研修の置賜圏域の受講者数は、令和6年度3名、令和7年度4名と少ない状況にある。											
	令和8年度以降から当面は、地域における権利擁護支援や市民後見人の必要性について、研修会等による周知啓発に力を入れていくことが令和7年度第二回置賜成年後見センター運営協議会において決定した。											

施策	尊厳ある暮らしのための支援と成年後見の充実				
事業	②高齢者虐待防止対策の推進				
R7達成度	5	4	③	2	1
現状と課題	(1)事業内容				
	養護者による高齢者虐待及び介護施設従事者等による高齢者虐待の防止とその対応を行う。また、その充実に向けた連携・協力体制の整備を目的とし、高齢者福祉の関係機関等に対して、研修等による周知啓発を実施。				
	(2)実績				
	実績値	R6	R7	R8	
	研修実施回数	4	5		
現状と課題	参考：7期				
	実績値	R3	R4	R5	
	研修実施回数	1	1	4	
	(3)課題				
	養護者、介護施設従事者ともに、虐待の通報件数が減少傾向にある。関係機関や担当者によって虐待対応についての理解や認識に違いがあるため、研修を通した正しい知識の共有と関係機関による対応の平準化が必要である。				
R8に向けた今後の方針	高齢者虐待の防止において、関係機関や担当者による正しい知識の習得、権利擁護の考えに基づく日々の実践が重要であるため、本事業を継続して研修を開催していく他、広報、パンフレット等で高齢者虐待の防止に関する普及啓発を行う。 また、法的に虐待防止対策を義務付けられた介護サービス事業者だけでなく、サービス付き高齢者住宅や有料老人ホーム等も含め、行政発信の研修会開催に加えて、各地域包括支援センターや各サービス事業所が主催する研修会への講師派遣、研修内容の充実に向けて支援を行う。 介護相談員と連携を図り、利用者の声を拾い早期発見に努めていく。				

施策	尊厳ある暮らしのための支援と成年後見の充実																							
事業	③高齢者消費者被害防止(消費者見守りサポーター等の養成)																							
R7達成度	5 4 3 (2) 1																							
現状と課題	(1)事業内容 高齢者の消費者被害に係る知識を備えた「消費者見守りサポーター」を養成し、地域の多様な主体との連携による地域の見守りネットワークを推進することにより、高齢者の消費者被害防止を図り消費者にとって安全・安心な地域づくりを行う。																							
	(2)実績及び目標値 消費者見守りサポーター																							
	<table><tr><td>実績値</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8(目標)</td></tr><tr><td>養成講座開催数(回)</td><td>23</td><td>21</td><td>25</td></tr><tr><td>養成数(人)</td><td>231</td><td>208</td><td>300</td></tr><tr><td>養成者数(延人数)</td><td>2,799</td><td>3,007</td><td>3,485</td></tr><tr><td>目標値(延人数)</td><td>2,885</td><td>3,185</td><td>3,485</td></tr></table>				実績値	R6	R7	R8(目標)	養成講座開催数(回)	23	21	25	養成数(人)	231	208	300	養成者数(延人数)	2,799	3,007	3,485	目標値(延人数)	2,885	3,185	3,485
	実績値	R6	R7	R8(目標)																				
	養成講座開催数(回)	23	21	25																				
	養成数(人)	231	208	300																				
	養成者数(延人数)	2,799	3,007	3,485																				
	目標値(延人数)	2,885	3,185	3,485																				
	参考:8期																							
	<table><tr><td>実績値</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>養成講座開催数(回)</td><td>13</td><td>14</td><td>22</td></tr><tr><td>養成数(人)</td><td>86</td><td>80</td><td>133</td></tr><tr><td>養成者数(延人数)</td><td>2,355</td><td>2,435</td><td>2,568</td></tr></table>				実績値	R3	R4	R5	養成講座開催数(回)	13	14	22	養成数(人)	86	80	133	養成者数(延人数)	2,355	2,435	2,568				
実績値	R3	R4	R5																					
養成講座開催数(回)	13	14	22																					
養成数(人)	86	80	133																					
養成者数(延人数)	2,355	2,435	2,568																					
(3)課題																								
他市の消費者会からの依頼で講座を開催したり、昨年度に引き続き高等学校で講座を開催するなどして養成者数を増やす取り組みを行ったが、目標値より若干下回った。講師役、受講団体共に固定化していることから、新規講師役の養成を継続するとともに、障がい福祉分野、教育分野等との連携等、講座開催を促進するための取組み強化が必要である。																								
R8に向けた今後の方針	引き続き消費生活担当の生活安全課と協働し、消費者安全確保地域協議会の構成団体である障がい福祉や通いの場、サロン等に対する受講勧奨とともに、新たな分野との連携によるサポーター数の増加を図ることで、見守りネットワークの強化を図る。																							

施策	尊厳ある暮らしのための支援と成年後見の充実				
事業	④成年後見制度利用支援事業（申立経費、成年後見人報酬の支援）				
R7達成度	5	4	③	2	1
現状と課題	(1)事業内容				
	判断能力が不十分な認知症高齢者等に対し、所得の低い人でも成年後見制度を利用しやすくするために、申立てに関する支援や経費の助成、成年後見人等への報酬助成を行う。				
	(2)実績				
	実績値	R6	R7	R8	
	申立て費用助成件数	6	2		
	成年後見人等への報酬助成件数	5	8		
	参考：8期				
	実績値	R3	R4	R5	
	申立て費用助成件数	3	6	7	
	成年後見人等への報酬助成件数	3	0	3	
(3)課題					
置賜成年後見センターが設置されたことにより、成年後見制度に関する相談も増えており、そのような中で、制度利用促進に向けた周知・啓発活動や関係機関との情報共有や連携が必要である。					
R8に向けた今後の方針	認知症高齢者及び身寄りのない高齢者の増加が予想され、成年後見制度を含めた権利擁護支援の必要性は高まっている。今後の更なる制度利用促進に向けて本事業は継続していく。 また、本事業の利用を推進していくにあたり、置賜成年後見センターを設置している3市5町において、利用支援事業に関する情報の共有を図る。				

施策	過不足のない介護給付の提供・支援				
事業	①要介護認定の適正化				
R7達成度	5	4	3	2	1
現状と課題	(1)事業内容 保険者調査実施率の向上を図ると共に、委託調査票の全件点検を実施する。また、県主催の介護認定審査会委員及び認定調査員の研修を受講し、適正な要介護認定を実施していく。				
	(2)要介護認定調査実施数(件)				
		R6	R7	R8	
	市 実 施	2,844	2,867		
	委 託	1,541	1,506		
	合 計	4,385	4,373		
	実績 認定調査保険者実施率(%)				
		R6	R7	R8(目標)	
	実績値	64.9	65.6		
	目標値	58.5	59.0	59.5	
参考:8期					
	R3	R4	R5		
認定調査保険者実施率(%)	54.4	57.9	59.9		
R8に向けた 今後の方針	(3)課題 委託による調査が続いている被保険者には、市調査員による調査を適宜実施し、適正化を図っていく必要がある。				
	委託した認定調査については、認定調査票の全件点検を引き続き実施すると共に、委託による調査が続いている被保険者を抽出し、定期的に市調査員が調査を実施することで、認定調査の平準化を図っていく。 全国一律の認定調査員テキストに沿った漏れのない正確な調査を実施していくためにも、引き続き市調査員が研鑽を図りながら、認定調査の保険者の実施率向上を目指していく。				

施策	過不足のない介護給付の提供・支援				
事業	②ケアマネジャーの質の向上				
R7達成度	5	4	③	2	1
現状と課題	(1)事業内容 面接や地域ケア会議での点検のほか、新規作成ケアプランの内容確認及び指導等により自立支援に資するケアマネジメント・ケアプラン作成を支援する。				
	(2)実績				
	①面接によるケアプラン点検(件)				
		R6	R7	R8(目標)	
	実績値	44	46		
	目標値	40	42	45	
	②新規ケアプラン確認指導数(件)				
		R6	R7	R8(目標)	
	実績値	166	24		
	目標値	240	240	240	
参考:8期					
	実績値	R3	R4	R5	
	面接によるケアプラン点検(件)	36	32	38	
	新規ケアプラン確認指導数(件)	250	250	214	
(3)課題					
各事業所に対し定期的に行うケアプラン点検に加えて、国民健康保険団体連合会の介護給付適正化システムを活用したケアプラン検証・点検を実施していく必要がある。					
新規ケアプランの確認については、令和6年度までは全件提出を求め、書類提出後に文書による助言を実施していたが、令和7年度からは、事業所に出向いてケアマネジャーと直接内容の確認、指導を行い、最後に文書による助言を実施する方法に変更した。確認件数は減少したものの、自立を阻害する要因の分析不足が多いことが明らかとなった。					
R8に向けた 今後の方針	面接によるケアプラン点検においては、居宅介護支援事業所等に対し利用者にあった適正なプランになっているかを定期的に点検する。また、国民健康保険団体連合会の介護給付適正化システムを活用し、給付実績等から抽出した帳票を活用し点検することで、効果的なケアプラン点検の実施を行う。 居宅介護支援事業所等を対象としたケアプラン作成に係る研修会を開催し、ケアマネジメントの質の向上を図る。				

施策	過不足のない介護給付の提供・支援				
事業	③住宅改修アドバイザー事業利用の推進				
R7達成度	5	4	3	(2)	1
現状と課題	(1)事業内容 介護・介護予防給付の住宅改修を希望する者に、作業療法士等の専門職を住宅改修アドバイザーとして派遣し助言や指導を行い、高齢者にとってより自立支援につながる住みやすい住環境づくりを支援する。				
	(2)実績 ①住宅改修アドバイザー事業利用数(件)				
		R6	R7	R8(目標)	
	実績値	3	3		
	目標値	36	36	36	
	参考:8期				
	実績値	R3	R4	R5	
	住宅改修アドバイザー事業利用件数	8	6	5	
	(3)課題 市の広報やホームページを活用した市民への周知及び、集団指導時には事業所へ活用を促し、利用実績の増加による適切なサービス提供を図る。				
R8に向けた今後の方針	利用者の身体状況が大きく変化した場合や、住宅改修のみの希望で本人の状況を把握しているケアマネジャー等がいらない人に対して住宅改修アドバイザー事業を紹介、周知するとともにケアマネジャーとも連携しながら利用促進を図る。				

施策	過不足のない介護給付の提供・支援										
事業	④医療情報との突合・縦覧点検										
R7達成度	5 4 ③ 2 1										
現状と課題	(1)事業内容 受給者の医療情報と介護保険の給付情報の突合や複数月にまたがる介護報酬の支払い状況を国民健康保険団体連合会からの情報に基づき点検し、医療と介護の重複請求や請求内容の誤り等を早期に発見し、事業所へ適正請求の指導を実施する。										
	(2)実績(件)										
	<table><tr><td rowspan="2">実績値</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>39</td><td>123</td><td></td></tr></table>				実績値	R6	R7	R8	39	123	
	実績値	R6	R7	R8							
		39	123								
参考:8期											
<table><tr><td rowspan="2">実績値</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>56</td><td>47</td><td>35</td></tr></table>				実績値	R3	R4	R5	56	47	35	
実績値	R3	R4	R5								
	56	47	35								
(3)課題 国民健康保険団体連合会から提供される縦覧点検結果や医療情報との突合結果を更に活用し、提供されたサービスの整合性の点検や請求内容の確認を行っていく必要がある。											
R8に向けた 今後の方針	今後も、受給者の後期高齢者医療や国民健康保険の医療情報との突合や介護報酬の支払状況の確認を行い、不適切な請求がないよう指導していく。										

施策	過不足のない介護給付の提供・支援															
事業	⑤介護相談員派遣事業															
R7達成度	5	4	③	2	1											
現状と課題	(1)事業内容 介護サービス利用者の日常的な不平、不満、疑問を受け付け、問題の発見や提起、解決策の提案などを通じて、苦情が発生するようなことを未然に防ぎ、介護サービスの質の向上を図る。															
	(2)実績及び目標値 介護相談員の介護サービス事業所への派遣数(回)															
	<table><tr><td>実績値</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>派遣数(回)</td><td>213</td><td>162</td><td></td></tr><tr><td>目標値</td><td>210</td><td>240</td><td>240</td></tr></table>				実績値	R6	R7	R8	派遣数(回)	213	162		目標値	210	240	240
	実績値	R6	R7	R8												
	派遣数(回)	213	162													
目標値	210	240	240													
参考:8期																
<table><tr><td>実績値</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>派遣数(回)</td><td>1</td><td>27</td><td>188</td></tr></table>				実績値	R3	R4	R5	派遣数(回)	1	27	188					
実績値	R3	R4	R5													
派遣数(回)	1	27	188													
R8に向けた今後の方針	(3)課題 介護サービス相談員の訪問について事業所の現場と管理者との間で情報共有がされておらず、せっかく訪問しても事業所内に入れず、介護サービス利用者から声を聞くことができないケースがある。また、そもそも介護サービス相談員を知らない介護職員がいる。事業の更なる周知が必要である。															
	訪問の打診について回答のない事業所や訪問を承諾しないと回答のあった事業所に対しても、引き続き事業を周知し、苦情の発生を未然に防ぎ介護サービスの質の向上を図るためにも、事業所に対し意向調査を実施し訪問していく。広報よねざわにて介護職について特集で掲載するため、その中で介護サービス相談員の役割と意義を伝える。															

施策	家族介護者への支援										
事業	①家族介護者交流支援事業										
R7達成度	実施なし										
現状と課題	(1)事業内容										
	在宅で高齢者の介護をしている家族を、介護から一時的に解放し、相互交流を図る機会を提供する。対象者は、要介護3、4、5の人又は認知症高齢者(日常生活自立度Ⅲ、Ⅳ及びM)を現に在宅で介護している人。日帰り交流会と宿泊交流会を開催している。 令和6年度については、感染症予防の観点から、宿泊交流会は実施せず、日帰り交流会を2回実施した。										
	(2)実績										
	<table><tr><td>実績値</td><td>R6</td><td colspan="2">R7～</td></tr><tr><td>交流会参加者数</td><td>7</td><td colspan="2">廃止</td></tr></table>			実績値	R6	R7～		交流会参加者数	7	廃止	
	実績値	R6	R7～								
交流会参加者数	7	廃止									
参考:8期											
<table><tr><td>実績値</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>交流会参加者数</td><td>未実施</td><td>15</td><td>11</td></tr></table>			実績値	R3	R4	R5	交流会参加者数	未実施	15	11	
実績値	R3	R4	R5								
交流会参加者数	未実施	15	11								
R8に向けた 今後の方針	(3)課題										
	参加者はリピーターが多く、複数回参加される方もいるが、新規の参加者が少ないため実参加者数は増えていない。										
	本事業は、家族介護者の精神的負担の軽減、いわゆる慰労を目的として事業を実施してきたが、近年は参加者が減少し続け、あらゆる周知・勧奨を行うも効果がない状況にある。併せて、開催曜日の調整、低額な参加料等の設定でも減少に歯止めがかからない状態にあった。 減少の要因としては、ケアマネジャーや介護サービス事業者、医師等の支援者が、高齢者本人のほか介護者にとっての身近な相談者となり、頼れる医療・介護の専門職が存在することで、近年は特に介護者が感じるストレスや負担感は大きく軽減されている状況にあることが挙げられることから、慰労を目的とした本事業については令和7年度より廃止。										

施策	家族介護者への支援												
事業	②家族介護者支援事業												
R7達成度	5	4	③	2	1								
現状と課題	(1)事業内容 在宅で介護を行う家族や介護に関心のある方に対し、介護の知識や技術について学ぶ教室を開催し、家族介護者の介護負担の軽減を図る。 (2)実績(年度末時点) <table><tr><td>実績値</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8(目標)</td></tr><tr><td>延べ参加者数</td><td>22</td><td>24</td><td>26</td></tr></table> (3)課題 参加者数は増加しているものの、介護に関心のある方の参加が多く、実際に介護をしている家族の参加が少ない。					実績値	R6	R7	R8(目標)	延べ参加者数	22	24	26
実績値	R6	R7	R8(目標)										
延べ参加者数	22	24	26										
R8に向けた今後の方針	R7年度に引き続き、在宅介護実態調査等で明らかとなっている家族介護者のニーズに合わせた教室を開催する。また、家族介護者に教室の情報が届くよう、教室の周知方法についても検討していく。												

施策	家族介護者への支援											
事業	③紙おむつ給付事業											
R7達成度	5	4	③	2	1							
現状と課題	(1)事業内容 寝たきり高齢者等に対し紙おむつの給付を行うことにより、清潔で快適な生活を過ごせるように支援し、その介護を行う方の経済的負担軽減を目指す。											
	(2)実績(年度末時点)											
	<table><tr><td>実績値</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>交付者数(人)</td><td>1,029</td><td>989</td><td></td></tr></table>					実績値	R6	R7	R8	交付者数(人)	1,029	989
実績値	R6	R7	R8									
交付者数(人)	1,029	989										
R8に向けた 今後の方針	(3)課題 おむつ代は在宅介護をするうえで、大きな負担になる。経済的負担を少しでも軽減し、できる限り住み慣れた地域で在宅生活が送れるよう、事業継続が必要である。											
	できる限り住み慣れた地域で在宅生活を送ることができるよう、事業を継続するとともに、必要な方におむつ券が行き届くよう、広報やホームページにて周知を図る。											

施策	家族介護者への支援											
事業	④訪問理美容助成事業											
R7達成度	5	4	③	2	1							
現状と課題	(1)事業内容 寝たきり状態にあることや身体の障害等の理由により理髪店や美容院に出向くことが困難である概ね65歳以上で介護保険における要介護度が3・4・5の人や重度身体障がい者(下肢障がい1・2級)等に対し、自宅への出張訪問に要する費用の一部を助成する。											
	(2)実績(年度末時点)											
	<table><tr><td>実績値</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>登録者数</td><td>57</td><td>44</td><td></td></tr></table>					実績値	R6	R7	R8	登録者数	57	44
実績値	R6	R7	R8									
登録者数	57	44										
R8に向けた 今後の方針	(3)課題 在宅生活を継続する中で、清潔さを保ち、身だしなみを整えることで気持ちの爽快感につながり、QOL(生活の質)の向上にもつながる。必要とする方がサービスを利用できるよう周知を図る必要がある。											
	できる限り住み慣れた地域で在宅生活を送ることができるよう、事業を継続するとともに、広報やホームページにて周知を行う。利用者の利便性を高めるため、理美容協会への加入店舗以外へも、拡大に向けて検討していく。											

施策	地域包括支援センターの機能強化																							
事業	地域包括支援センター運営事業																							
R7達成度	5	4	(3)	2	1																			
現状と課題	(1)事業内容 高齢者等が住み慣れた地域で安心して尊厳あるその人らしい生活を継続できるよう、高齢者等の地域住民の総合相談、権利擁護や地域の支援体制づくり、介護予防に必要な援助等を通じ、地域包括ケアの推進を図る。																							
	(2)実績																							
	<table><tr><td>実績値</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8(目標)</td></tr><tr><td>総合相談件数</td><td>10,799</td><td>9,398</td><td>10,800</td></tr><tr><td>権利擁護に関する相談件数</td><td>379</td><td>167</td><td>345</td></tr><tr><td>予防給付ケアプラン作成数</td><td>3,749</td><td>4,388</td><td>3,403</td></tr></table>				実績値	R6	R7	R8(目標)	総合相談件数	10,799	9,398	10,800	権利擁護に関する相談件数	379	167	345	予防給付ケアプラン作成数	3,749	4,388	3,403				
	実績値	R6	R7	R8(目標)																				
	総合相談件数	10,799	9,398	10,800																				
	権利擁護に関する相談件数	379	167	345																				
	予防給付ケアプラン作成数	3,749	4,388	3,403																				
	参考:8期																							
	<table><tr><td>実績値</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>総合相談件数</td><td>10,265</td><td>10,370</td><td>11,550</td></tr><tr><td>権利擁護に関する相談件数</td><td>257</td><td>283</td><td>360</td></tr><tr><td>ケアマネジャーに対する個別支援</td><td>307</td><td>296</td><td>321</td></tr><tr><td>予防給付ケアプラン作成数</td><td>2,968</td><td>3,024</td><td>3,237</td></tr></table>				実績値	R3	R4	R5	総合相談件数	10,265	10,370	11,550	権利擁護に関する相談件数	257	283	360	ケアマネジャーに対する個別支援	307	296	321	予防給付ケアプラン作成数	2,968	3,024	3,237
	実績値	R3	R4	R5																				
総合相談件数	10,265	10,370	11,550																					
権利擁護に関する相談件数	257	283	360																					
ケアマネジャーに対する個別支援	307	296	321																					
予防給付ケアプラン作成数	2,968	3,024	3,237																					
(3)課題																								
地域住民や関係機関等からの相談件数は減ったが、相談内容の複雑多様化により困難事例への対応に時間を要している。そのため職員の広範囲な知識や専門性、対応力の向上と関係機関との連携体制構築を推進する必要がある。 また要支援認定者が増加していることから発生の予防、状態の維持・改善、悪化の遅延を図るために、高齢者の自立を目指した支援を実施する。																								
R8に向けた 今後の方針	複雑多様な相談及び複合的課題を有する世帯へ対応するために関係機関との情報共有、連携体制の強化に努め、課題の解決につなげる。 また、アウトリーチ等を活用しつつ、地域の実情・実態の把握に努め、必要なサービスにつなげるなど高齢者一人一人の状況に応じた適切なケアマネジメントを行うことで高齢者の自立を目指した支援を行う。																							

施策	利用者負担の軽減			
事業	①米沢市介護保険居宅サービス等利用者負担額助成事業			
R7達成度	5	4	③	2 1
現状と課題	(1)事業内容 介護保険居宅サービスの利用者負担が困難な利用者に対して、自己負担分の一部を助成する。			
	(2)実績			
		R6	R7	R8(目標)
	助成件数	683	622	670
	支給額	2,454,058	2,092,745	
	参考:8期			
	実績値	R3	R4	R5
	助成件数	713	600	655
	支給額	2,487,102	2,056,163	2,337,836
	(3)課題 広報掲載や、介護認定更新申請案内送付時に事業内容を周知しているが、毎月同一者が申請することが多い。低所得者が助成を受けることで必要なサービスを利用し、重度になっても住み慣れた自宅での生活が続けられるよう支援する必要がある。			
R8に向けた今後の方針	今後も助成対象者が申請できるように事業内容の周知を図り、必要な人が助成を受けられ、要介護認定者が住み慣れた環境で暮らし続けられるよう支援していく。また、居宅介護支援事業所に対し、対象と思われる利用者への勧奨について働きかけていく。			

施策	利用者負担の軽減				
事業	②社会福祉法人等による利用者負担額軽減制度				
R7達成度	5	4	3	(2)	1
現状と課題	(1)事業内容 介護保険サービスを提供する社会福祉法人が、生計が困難な低所得者の利用者負担額の一部を軽減する。対象者は、法人からの勧めで市へ申請し、「利用者負担軽減確認証」の交付を受けることで、利用者負担分と食費・居住費の1/4の軽減が図られる。				
	(2)実績				
		R6	R7	R8(目標)	
	社会福祉法人数	3	2	8	
	確認証交付件数	3	4	12	
	参考:8期				
	実績値	R3	R4	R5	
	社会福祉法人数	6	5	4	
	確認証交付件数	9	5	4	
	(3)課題 取り組む法人数は減少しており、全ての法人の実施には至っていない。そのため、新規の申請者数が増えておらず、確認証の交付件数も減少している。				
R8に向けた 今後の方針	社会福祉法人に対し、制度についての周知を図ると共に理解を求め、低所得者の利用負担が軽減されるように、事業の積極的な取り組みを働きかけていく。 併せて、ホームページに制度内容を掲載し、市民に周知を図っていく。				

施策	生活支援サービスの充実				
事業	①生活支援コーディネーターの配置				
R7達成度	5	4	③	2	1
現状と課題	(1)事業内容 生活支援コーディネーターの配置、協議体の設置により支え合いによる活動を推進し、多様な主体による多様な生活支援提供体制の整備を推進する。				
	(2)実績				
	①生活支援コーディネーター配置数(人)				
	実績値	R6	R7	R8(目標)	
	配置数(実)	5	5	5	
	参考:8期				
	実績値	R3	R4	R5	
	配置数(実)	5	5	5	
	②生活支援コーディネーター訪問活動数(回)				
	実績値	R6	R7	R8(目標)	
	訪問活動数	397	537	600	
	参考:8期				
	実績値	R3	R4	R5	
	訪問活動数	865	551	555	
	③地域のお宝発表会の開催				
	暮らしの中にある人と人とのつながり、自然な住民同士の支え合い(地域のお宝)を推進し、多くの住民が共有することで、それらを守り、増やし、受け継いでいくことを目指し、R3から開催。				
		R6	R7	R8	
	開催回数	1	1		
	参加者数	103	162		
	参考:8期				
		R3	R4	R5	
	開催回数	1	1	1	
参加者数	NCV放映のみ	102	74		
④発行物					
R4	生活お助けガイドブック				
R5	生活お助けガイドブック				
R6	生活お助けガイドブック				
R7	生活お助けガイドブック				
(3)課題					
生活支援コーディネーターによる住民主体の活動の把握及び周知、住民の活動継続支援、新規立ち上げ支援といった活動支援を継続的に行っている。一方で、支援する住民主体の支え合い活動の周知不足もあり、活動と支援を必要とする高齢者のマッチングまで至っていない。					
R8に向けた今後の方針	住民主体の支え合い活動について、生活支援コーディネーター通信やお宝発表会といった周知の機会を継続するとともに、地域包括支援センターと生活支援コーディネーターの事例検討を通して、実際の活動と高齢者をマッチングする機会を創出する。				

施策	生活支援サービスの充実				
事業	②高齢者等生活支援事業(生活援助員の派遣)				
R7達成度	5	4	③	2	1
現状と課題	(1)事業内容				
	在宅の概ね65歳以上の単身世帯や高齢者夫婦世帯で、日常生活上に援助が必要な人が介護を必要とする状態になることを予防するために、日常生活においてゴミ捨て、灯油入れ等の軽度な支援を行う生活援助員を派遣する。利用者負担：(R8年度からは1回30分当たり53円に変更)				
	(2)実績(数値は年度末時点)				
	実績値	R6	R7	R8	
	利用人数	86	99		
	派遣回数	3,891	4,469		
	派遣時間	1,936	2,257		
	(3)課題				
	R2年5月に行われた介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果をみると、普段の生活で必要と思う支援についての回答では、屋内外の軽作業、買い物、ゴミ出しが上位を占めており、高齢者の在宅生活における自立支援をサポートするために継続的に必要なサービスである。				
R8に向けた今後の方針	高齢者の在宅生活と自立支援をサポートする事業として、継続して実施する。				

施策	生活支援サービスの充実											
事業	③愛の一声事業											
R7達成度	5	4	③	2	1							
現状と課題	(1)事業内容 市内に在住する70歳以上の単身または高齢者のみ世帯に対し、乳酸飲料を支援しながらその安否を確認するとともに、日常生活に生きがいと楽しみを与え、在宅福祉の増進を図る目的で実施。											
	(2)実績(数値は年度末時点)											
	<table><tr><td>実績値</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8(目標)</td></tr><tr><td>支給世帯数</td><td>380</td><td>350</td><td></td></tr></table>				実績値	R6	R7	R8(目標)	支給世帯数	380	350	
	実績値	R6	R7	R8(目標)								
支給世帯数	380	350										
(3)課題 新規登録者は25人いるが、71人廃止しており、利用者が減少傾向にある。廃止の理由として、施設入所が26人と多く、次いで死亡16人、その他(本人都合、家族と同居等)29人となっている。当該事業は、乳酸飲料を支給することによりその安否の確認を行い、住み慣れた地域で在宅生活を安心して送るための見守りサービスの一つとして意味のある事業となっている。												
R8に向けた今後の方針	高齢者の安否確認や見守り機能として、必要な高齢者が円滑に利用できるよう、広報やホームページで事業の周知を強化していく。											

施策	生活支援サービスの充実				
事業	④はり、きゅう、マッサージ等助成事業				
R7達成度	5	4	③	2	1
現状と課題	(1)事業内容				
	70歳以上の高齢者が、はり、きゅう、マッサージ等の施術を受けた際に、市が一回につき1,000円を限度に年度内10回助成し、高齢者の健康保持を図ることを目的に実施する。令和5年度からは年齢を70歳以上に変更している。				
	(2)実績(数値は年度末時点)				
	実績値	R6	R7	R8	
	交付人数	1,061	939		
R8に向けた今後の方針	助成券利用枚数	4,317	3,840		
	(3)課題				
	70歳以上の高齢者数(R8.4.1現在)に対し、申請者数はそのうち約5%となっている。				
施術を必要とする高齢者が漏れなく本事業を利用し、健康増進の一助となるよう引き続きホームページや広報を活用し事業の周知を図っていく。					

施策	生活支援サービスの充実											
事業	⑤あんしん電話事業											
R7達成度	5	4	③	2	1							
現状と課題	(1)事業内容											
	概ね65歳以上の高齢者等の家庭に緊急通報機器を設置し、家庭内での急病、事故等により救援を必要とする場合、機器を通じて受信センターに通報し、速やかな救援活動を行う。											
	(2)実績(数値は年度末時点)											
	<table><tr><td>実績値</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8(目標)</td></tr><tr><td>事業登録(設置)世帯数</td><td>185</td><td>178</td><td></td></tr></table>					実績値	R6	R7	R8(目標)	事業登録(設置)世帯数	185	178
実績値	R6	R7	R8(目標)									
事業登録(設置)世帯数	185	178										
R8に向けた今後の方針	(3)課題											
	本事業は必ず固定電話回線が必要となるが、携帯電話の普及で固定電話回線を持たない世帯が増えてきたこともあり、近年の事業登録(設置)世帯数は減少傾向にある。固定電話回線がなくとも事業実施ができるよう見直しが必要である。											

施策	地域共生社会の理念啓発・社会の構築											
事業												
R7達成度	5	4	(3)	2	1							
現状と課題	(1) 事業内容 制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」の関係を越え、住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が「丸ごと」つながることで、一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会の実現を目指す。 そのため、複合化した問題や制度の狭間の問題に対して、全体を俯瞰して支援する福祉総合相談支援体制に取り組んでいる。											
	(2) 実績 他課と連携して対応した相談件数											
	<table><tr><td>実績値</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8(目標)</td></tr><tr><td>連携件数</td><td>21</td><td>16</td><td></td></tr></table>				実績値	R6	R7	R8(目標)	連携件数	21	16	
	実績値	R6	R7	R8(目標)								
	連携件数	21	16									
参考: 7期												
<table><tr><td>実績値</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>連携件数</td><td>12</td><td>13</td><td>21</td></tr></table>				実績値	R3	R4	R5	連携件数	12	13	21	
実績値	R3	R4	R5									
連携件数	12	13	21									
(3) 課題 相談内容の複雑多様化により、複数課での対応が必要なケースが増加し、職員の対応力の向上と関係機関との連携体制構築を推進する必要がある。												
R8に向けた今後の方針	複雑多様な相談及び複合的課題を有する世帯へ対応するために庁内関係課と情報を共有し、連携体制の強化に努め、課題の解決につなげる。											

施策	介護人材確保及び業務効率化の取組												
事業	①趣旨普及事業【重点】												
R7達成度	5	4	③	2	1								
現状と課題	(1)事業内容 深刻な介護の担い手不足に対し、介護職の魅力を伝える広報活動として、「介護の仕事の魅力」について広報よねざわに特集を掲載した。また、その内容をYouTubeで動画配信をした。さらに、中高生を対象に学校で掲示できるようポスターを作成し配布することで、介護の仕事についての紹介やYouTube配信について周知を行った。 (2)実績 <table><tr><td>実績値</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>YouTube再生回数(回)</td><td></td><td>103</td><td></td></tr></table> (3)課題 動画の再生回数100回を超えたため、少し成果があった。中高生からの感想の中には、福祉の仕事は大変だがやりがいがある、人とのつながりを大切にしたい素敵な仕事だと思った、自分を成長できる仕事だと感じたといった前向きな意見があった。一方で、もっと簡潔にしてほしい、少しわかりづらかったという意見もあったため、いくつかの具体的な職種を分かりやすく紹介することで、さらなる認知度向上と幅広い年齢層への周知し、介護職への希望者増加へとつなげたい。					実績値	R6	R7	R8	YouTube再生回数(回)		103	
実績値	R6	R7	R8										
YouTube再生回数(回)		103											
R8に向けた 今後の方針	令和8年度は「介護の仕事の魅力」の情報発信(広報掲載)を予定している。介護の仕事に注目してもらえるよう、新たな職種を取り上げていきたい。												

施策	介護人材確保及び業務効率化の取組				
事業	②介護保険事業所運営指導及び介護保険事業所集団指導				
R7達成度	5	4	③	2	1
現状と課題	(1)事業内容 介護保険事業所に対する指導監督業務を実施し、高齢者の尊厳を保持し、良質なケアが提供される体制を継続させることと、高齢者への虐待を防止することにより、介護保険制度への信頼性を維持し、制度の持続可能性を高める。				
	(2)実績（運営指導事業所数）				
		R6	R7	R8(目標)	
	地域密着型サービス	14	13	11	
	居宅介護支援事業所	9	10	12	
	参考:8期				
	実績値	R3	R4	R5	
	地域密着型サービス	15	13	11	
	居宅介護支援事業所	8	9	12	
	(3)課題 運営指導については、3年に1回計画的に実施し、介護保険制度への信頼性、制度の持続可能性を高める。 集団指導については、年1回開催し、制度改正や介護報酬の内容について、わかりやすい指導・周知を行う。				
R8に向けた今後の方針	制度の主旨を踏まえ、本市で指定している介護サービス事業所に対し、指定期間の間に2回実施できるよう、計画的に実施していく。 介護保険事業所集団指導は、毎年度1回実施し、制度改正や介護給付費等対象サービスの取扱い、介護報酬の内容などについて、介護保険事業者に指導・周知していく。				

施策	災害や感染症対策に係る体制整備
事業	
R7達成度	5 4 (3) 2 1
現状と課題	(1) 事業内容 介護保険事業所と連携し、避難訓練の実施や感染防止策の周知啓発を行い、適切な対策の実施及び継続的なサービスの提供に向けた支援を行う。 介護保険事業所では運営指導等の場面を通じて、業務継続計画に向けた研修や訓練の実施に関し、助言等を行う。併せて、避難行動要支援者(要介護3～5の認定者)が、災害時にどのような避難行動をとればよいのかについて、ケアマネジャーと連携し一人一人の状況に合わせて個別避難計画を作成していく。 (2) 実績 ・市指定の介護保険事業者においては、業務継続計画の策定済み。 ・R7年度末時点個別避難計画作成件数 164件 (3) 課題 運営指導等を通じて、業務継続計画に向けた研修や訓練の実施に関し、助言等を行う。 個別避難計画の災害時の運用について定まっておらず、災害時に個別避難計画が機能しない可能性がある。
R8に向けた今後の方針	災害が発生した場合には、米沢市地域防災計画や米沢市新型インフルエンザ等行動計画等に基づき対応する。 避難行動要支援者(要介護3～5の認定者)については、今後もケアマネジャーと連携し、一人一人の状況に合わせた個別避難計画の作成について普及啓発を行っていくとともに、個別避難計画の災害時の運用について関係課と検討していく。

現状と課題及び今後の方針

【住まい】

現状と課題及び今後の方針

施策	住まいの環境整備の支援															
事業	①住宅改修費支給事業															
R7達成度	5	4	③	2	1											
現状と課題	(1)事業内容 要介護認定者が住宅改修をした場合に領収書を添えた申請書を提出することにより、同一住宅で20万円を上限に利用者負担分を除いた額を支給する。ただし、事前にケアマネジャーが必要性を判断して申請書類を作成し、保険者が自立支援や環境整備に資すると認めた場合に着工となる。															
	(2)実績															
	<table><tr><td>実績値</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8(目標)</td></tr><tr><td>支給件数</td><td>166</td><td>179</td><td>200</td></tr><tr><td>支給額</td><td>15,288,091</td><td>16,164,608</td><td></td></tr></table>				実績値	R6	R7	R8(目標)	支給件数	166	179	200	支給額	15,288,091	16,164,608	
	実績値	R6	R7	R8(目標)												
	支給件数	166	179	200												
	支給額	15,288,091	16,164,608													
参考:8期																
<table><tr><td>実績値</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>支給件数</td><td>176</td><td>196</td><td>186</td></tr><tr><td>支給額</td><td>15,880,006</td><td>13,744,195</td><td>16,723,799</td></tr></table>				実績値	R3	R4	R5	支給件数	176	196	186	支給額	15,880,006	13,744,195	16,723,799	
実績値	R3	R4	R5													
支給件数	176	196	186													
支給額	15,880,006	13,744,195	16,723,799													
(3)課題 施工業者により制度への理解や価格について乖離がある。市へ事前事後に申請する必要があることから、保険者として助言や確認を行う機会があり、住環境に関する専門的知識が必要である。																
R8に向けた 今後の方針	安心・安全な住環境整備のため、職員が福祉住環境コーディネーターの資格を取得し、専門知識を生かした助言や確認ができる体制づくりを行うと共に、住宅改修アドバイザー事業の利用を通じて専門職との連携を強化していく。 また、複数見積もりを勧奨し、適正価格での給付について利用者及び施工業者の理解を求めていく。															

施策	住まいの環境整備の支援															
事業	②福祉用具購入費支給事業															
R7達成度	5	4	③	2	1											
現状と課題	(1)事業内容 要介護認定者が県指定販売事業所から福祉用具を購入した場合に領収書を添えた申請書を提出することにより、同年度で10万円を上限に利用者負担分を除いた額を支給する。購入前にはケアマネジャーが必要性を判断し申請書類を作成し、販売事業所では福祉用具専門相談員が専門的な助言を行う。さらに市では、自立支援や環境整備に資するか確認を行う。															
	(2)実績															
	<table><tr><td>実績値</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8(目標)</td></tr><tr><td>支給件数</td><td>326</td><td>238</td><td>280</td></tr><tr><td>支給額</td><td>9,895,032</td><td>7,301,350</td><td></td></tr></table>				実績値	R6	R7	R8(目標)	支給件数	326	238	280	支給額	9,895,032	7,301,350	
	実績値	R6	R7	R8(目標)												
	支給件数	326	238	280												
	支給額	9,895,032	7,301,350													
	参考:8期															
	<table><tr><td>実績値</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>支給件数</td><td>309</td><td>269</td><td>276</td></tr><tr><td>支給額</td><td>8,726,471</td><td>7,786,718</td><td>8,401,661</td></tr></table>				実績値	R3	R4	R5	支給件数	309	269	276	支給額	8,726,471	7,786,718	8,401,661
	実績値	R3	R4	R5												
	支給件数	309	269	276												
支給額	8,726,471	7,786,718	8,401,661													
(3)課題																
市へは購入後の申請となるため、購入前のケアマネジャーや福祉用具専門相談員の判断や助言が特に重要である。保険者として、安全で適切な利用により自宅での生活が続けられるようにケアマネジャー等との連携が重要である。																
R8に向けた 今後の方針	福祉用具専門相談員や福祉住環境コーディネーターの有資格者が適切な購入が行われているか確認していく。今後も保険者として、ケアマネジャーと連携を図りながら専門的な助言を行っていく。 また、福祉用具購入・貸与の調査について、国の「介護給付適正化計画」に関する指針に基づき、福祉用具利用者に対し訪問調査を行い、福祉用具の必要性や利用状況等を点検していく。															

施策	住まいの環境整備の支援															
事業	③高齢者等除雪援助員派遣事業															
R7達成度	5	4	③	2	1											
現状と課題	(1)事業内容 冬期間でも支障なく自立した生活ができるよう、除雪援助員を派遣し、道路から玄関までの生活道を確保する。回数は12月1日から翌年3月31日の間で10回まで(一部地域は12回)。 【利用者負担額】(令和4年度まで)手作業:300円、除雪機による作業:750円 (令和5年度から)手作業:330円、除雪機による作業:850円															
	(2)実績															
	<table><tr><td>実績値</td><td>R6※</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>登録者数</td><td>475</td><td>496</td><td></td></tr><tr><td>除雪援助員派遣回数</td><td>1,738</td><td>1,205</td><td></td></tr></table>				実績値	R6※	R7	R8	登録者数	475	496		除雪援助員派遣回数	1,738	1,205	
	実績値	R6※	R7	R8												
	登録者数	475	496													
	除雪援助員派遣回数	1,738	1,205													
	※令和6年度は、豪雪により助成回数の上限を2回増とした。															
	参考:8期															
	<table><tr><td>実績値</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>登録者数</td><td>506</td><td>519</td><td>438</td></tr><tr><td>除雪援助員派遣回数</td><td>1,906</td><td>1,199</td><td>608</td></tr></table>				実績値	R3	R4	R5	登録者数	506	519	438	除雪援助員派遣回数	1,906	1,199	608
	実績値	R3	R4	R5												
登録者数	506	519	438													
除雪援助員派遣回数	1,906	1,199	608													
(3)課題																
・除雪が必要な日や時間帯が集中することから、現状の契約業者のマンパワー不足により、除雪まで時間がかかる場合がある。																
・豪雪時には、状況に応じて上限回数増の検討が必要。																
R8に向けた今後の方針	降雪量により派遣回数は大きく左右されるが、特に豪雪時には事業の拡充も見据えつつ、高齢者の在宅生活を支援するため継続事業としたい。 これまでの契約業者だけでは、マンパワーが不足している状況であるため、新たな業者の開拓が必要である。															

施策	住まいの環境整備の支援				
事業	④高齢者等雪下ろし助成事業				
R7達成度	5	4	③	2	1
現状と課題	(1)事業内容 住居の屋根の雪下ろし等を自力で行うことが困難な単身高齢者等に対して、雪下ろしに要した費用の一部を助成する。回数は12月1日から翌年3月31日の間に行った雪下ろしに対して、一回当たり10,000円を上限に3回まで(一部地域は4回)助成。				
	(2)実績※令和6年度は、豪雪により助成回数の上限を2回増とした。				
	実績値	R6※	R7	R8	
	登録者数	1,201	1,075		
	助成回数	2,374	1,054		
	参考:8期				
	実績値	R3	R4	R5	
	登録者数	1,097	1,020	771	
	助成回数	1,833	1,199	85	
	(3)課題 ・自力で雪下ろしができない一人暮らし高齢者等に対する支援であり、豪雪地帯である本市にあっては、重要な事業である。 ・継続的な降雪の場合、雪下ろし業者がすぐ対応できず時間を要する。豪雪時には、状況に応じて、上限回数増の検討が必要。				
R8に向けた今後の方針	降雪量により助成回数は大きく左右されるが、特に豪雪時には事業の拡充も見据えつつ、高齢者の在宅生活を支援するため継続事業としたい。				

施策	高齢者の住まいの確保				
事業	①シルバーハウジング生活援助員派遣等事業 (市営住宅塩井町団地におけるライフサポートアドバイザーの配置)				
R7達成度	5	4	③	2	1
現状と課題	(1)事業内容 平成20年度より、市営塩井町住宅の一部の居室に緊急通報装置等を設置し、生活支援員による安否の確認、緊急時の対応、生活に関する相談等の支援を行う。				
	(2)実績(誤報含む)				
	実績値	R6	R7	R8	
	通報件数	28	10		
	参考:8期				
	実績値	R3	R4	R5	
	通報件数	17	34	19	
	(3)課題 緊急通報時の速やかな対応、普段の安否確認及び相談支援等により、日常生活における不安を解消することができている。 利用者の高齢化やニーズの多様化により、関係機関と連携した幅広い支援が必要となっており、生活援助員のスキルアップを図る必要がある。				
R8に向けた 今後の方針	緊急通報装置等の設置による緊急時の速やかな対応、生活支援員による安否確認及び日常生活に関する相談等、高齢者の在宅生活を支援するために必要な事業であるため継続事業としたい。 生活援助員の資質向上を図り、高齢者の自立した生活を長く継続できるように支援していく。				

施策	高齢者の住まいの確保				
事業	②老人福祉施設入所				
R7達成度	5	4	③	2	1
現状と課題	(1)事業内容 65歳以上の高齢者で、家庭環境や経済的理由等により在宅生活が困難な人について、養護老人ホームへの入所措置を行う。				
	(2)実績(各年度4月1日現在)				
	実績値	R6	R7	R8	
	入所者数	88	87		
	内、星の村(やむを得ない措置)	63(2)	62(2)		
	内、市外施設(やむを得ない措置)	22(1)	23		
	参考:8期				
	実績値	R3	R4	R5	
	入所者数	87	85	94	
	内、星の村(やむを得ない措置)	61(1)	60(1)	65(4)	
内、市外施設(やむを得ない措置)	24(1)	23(1)	23(2)		
R8に向けた 今後の方針	(3)課題 他法での支援や民間の施設等での生活が可能な場合もあるが、セーフティネットとしての役割を果たせるよう、安全、安心な生活を守るために入所措置を進める必要がある。				
	在宅生活が困難な高齢者を支援するために必要な事業であり、住環境の提供及び施設での生活全般にわたり支援している。 経済的な問題や家庭の事情等、入所理由は様々であるが、在宅生活が困難となった高齢者のための事業であり、今後も継続して高齢者の住まいを確保していく。				

施策	高齢者の住まいの確保											
事業	③高齢者生活支援短期入所事業(ショートステイ)											
R7達成度	5	4	③	2	1							
現状と課題	(1)事業内容 在宅の高齢者が自立した生活を営むことができるようにするため、または高齢者を養護している方が疾病その他の理由により養護することが一時的に困難な場合に、当該高齢者を短期間施設に入所させることで、当該高齢者への指導や支援を行う。											
	(2)実績											
	<table><tr><td>実績値</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>入所者数(人)</td><td>7</td><td>3</td><td></td></tr></table>					実績値	R6	R7	R8	入所者数(人)	7	3
実績値	R6	R7	R8									
入所者数(人)	7	3										
R8に向けた今後の方針	(3)課題 本事業では通常7日前までの申請が必要であるが、緊急的に居宅困難となったケースについては、当日申請でも特例で受け入れる場合がある。その際、養護老人ホーム星の村が緊急的に受け入れてくれているが、特別養護老人ホームでは一般入居者の受け入れもあり満床であることも多く、受け入れが困難な場合がある。											
	緊急時でも、本人の状態や希望に沿った施設への入所が望ましいと考える。緊急的な案件がある場合は、特別養護老人ホームとも連携しながら進めていく。また、現状対象施設となっていないが、要件に該当する施設については、事業内容を説明のうえ、参入を呼びかけていく。											

施策	住宅型有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅に関する情報連携強化				
事業					
R7達成度	5	4	③	2	1
現状と課題	(1) 事業内容 県から提供される有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅等の介護保険施設以外の高齢者に関する住まいの情報を把握し、必要に応じて、市民や関係機関に向けて情報提供を行う。 (2) 実績 県から提供される情報及び各ホームに対する照会により情報の更新を行い、「住宅型有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅・軽費老人ホーム一覧」として作成。窓口での相談対応時、必要に応じて市民や民生委員、ケアマネジャー、医療機関等の関係者に対し提供した。 (3) 課題 主に窓口での相談対応時の資料とし、設置個所は高齢福祉課窓口のみとしていることから、住まいに関する情報を必要とする高齢者や家族、関係者及び関係機関が情報を取得しにくい状況となっている。				
R8に向けた今後の方針	・引き続き年1回の年次更新を行い情報提供の在り方についてもホームページ等で周知を行う等、今後も検討を行う。				

施策	令和22(2040)年を見据えたサービス基盤、人的基盤の整備				
事業					
R7達成度	5	4	3	2	①
現状と課題	(1)事業内容 サービスを必要とする人が、最も適したサービスを受けることができるよう、居宅サービス、施設サービス、地域密着型サービスの供給バランスや必要性を重視した施設整備を推進する。 (2)実績 新たな施設整備はなし。 人材確保について、「介護の仕事の魅力」を市広報8月号に特集記事を掲載した。 (3)課題 介護職の人材確保が課題となっており、「介護の仕事の魅力」について情報発信していく。				
R8に向けた今後の方針	令和8年度に新たな施設整備の見込みはなし。 人材確保については、「介護の仕事の魅力」を市広報12月号に特集記事を掲載し情報発信を行っていく。				